眉宇を輝

かせながら緊急 民政警から監視官として北崎崎。 一体つてました」 分會長演繹總務課長以下更最三十九名がそれ / 所定の部署につき 九名がそれ / 所定の部署につき

愛嬌を振りまき行帰に

長蛇の列を作

押寄せる有權者

第一投票分會場の成績

六一二二叉 一七二〇附 四一七八八数

六一二二〇八〇 一二八八〇 七二八八〇 長票数

市南青女長、油

は、民間からは郷本野治郎氏が三名が ・ 立會つた、所轄大連幡将署からは ・ 竹下駅部舗以下版十名

場の内外

たガツチリはめ

界 木 鈴 人行發 治代喜本稿 人輔編 條 武 村本 人剛即 地番一冊可聞公東市連大 計報日洲滿計會式排所行發

大阪住者院アベノ筋四大阪住者院アベノ筋四大阪住者院アベノ筋四 看板

一旦る市 政戦

好の選擧日和 合會場に有權者殺到 に惠まれて

の混雑振りだ、耐ら陰神への砂める「管管」は市民の政治館自襲により上々の日本晴、徐徳治もドッと押しかけて各投票場とも轉手古に暗れ渡り北西の島艦やかに銀路機の蒸穀を稼がして行く位で天候は豫報通 市民歌弾の集職は赤一線といとも影職に進められての有權者の描き出す明暗の二色!の反映目である、四十一名の候補者を以 反映日である、四十一名の候補者をめぐって一萬五千有餘よく投票の日は來た、一日は過ぐる二旬の記載芳醇を總決第する「前民籍意」 前中に半數投票 午前七時に十五六名詰めか 名った、この日朝来秋空は清澄 多端な市政に黙し観る意義深い けた

投票本會場

7の一番に いまく 投 過ごしいよく 投 がを除始した、 五十分を終れれ時五十分には空隙。 他人様さへ僕を推薦して見れるのだから僕が僕自身へ投撃したって一向標はないだらうな、あいて一句にないだらうな、あいて、 戦以上の投票は終った事になった場局域内有権者五千十四點の中代 正午迄の

のでは、受験時間後一時間の九時には になしなの傷を験機一杯に総て戸外。 にかちの後の傷を験機一杯に総て戸外。 手達ひから事故器。 手達ひから事故器。 を は を の に か に か に か に か に か に が の に の に が の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に に の に に の に の に の に の に の の に に の に の に に に に の に に の に 。 に の に 。 。 。 に 。 に 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。

既に百名 を越え門前行列をなした。此處には民政器より監

ー票を投 すれげ配いで回 眠る鑑賞な厳な 地質で脱れが光着の し既に供報以上 七名の

左の如く推薦されると同時に市役 でところ離くその決定を見、一日 いところ離くその決定を見、一日 けふ市役所で發表 立看板違反

投票數

第一會楊六千二百〕

ルール では、第二十八人のに立った。 とは地形を反として のに描らす、一日投 が一貫が、第二倉場所 が一倉場所 が一倉場所 が一倉場所 が一倉場所 處分

開票狀況放送

未明から會場

詰か

けた有權

木村拓務参與宮 大使齢単、お土産は非貨を見て標本村務実 た「自信」

本社は二日の大連市会議員選擧開票に當つて左の市内十四ヶ所に速報板を設け開票のでを設け、のでは、一下の大連市会議員選擧開票に當つ事に致しました。 信濃町辻山洋行新聞 大殿場市 役 所 姓

政戦二旬前みど

市議選舉結果速報

午前中先づ

旅順の投票成

良好

対や、生物につくしてくれたこと 対か、事際につくしてくれたこと だけは、報告しておかう」

「そのがに軽す事はおりません、「そのがに軽す事はおりません、「そうがや、わしから」つ、変素したますと思っとるが、裁判所のか出さうと思っとるが、裁判所の よしわかったし んかし 既な下 大きい野であつた。上記は、外

悪の投票数あり、この區域一の一は投票滑みとなった 定刻に既に百名 後補者の常添か 二着の一票を投

九陣を爭ひ

によして臨船したが、取締の沙海山 を各有権者は単を関って場内へ踏 を全有権者は単を関って場内へ踏 を全有権者は単を関って場内へ踏 を会有権者は単を関って場内へ踏 一票を接じ 後後 ・ 大い 「古 ・ 大い 「古 ・ 大い 「古 ・ 大い 「古 で除って行く、

事務略つけそれ 関始のけそれ

第二投票分會場成績

▼ 東京 | 日教 | 長春帝回總領 | 東京 | 日教 | 長春帝回總領 | 東京 | 日教 | 長春帝回總領 | な以て賛表された 館改稱告示

0

明るくなるか、暗くなるか、

勝息の荒い連中が日を追ふて増す

勝の威騰も随地能となった今日 ことからう その異ない人だしの

「見して百能なくさしつゝ出洞 つらが、質ひよるみだから、そり 一見して百能なくさしつゝ出洞 つらが、質ひよるみだから、そり 一見して百能なくさしつゝ出洞 つらが、質ひよるみだから、そり 大使酵車、お土産は事質を見て得や、儲かる」

る。今の間に、かきこましてくれ「道理で、臓が、ぐうくしゅつと 「御苦勢だな。まづくてもいと 「田來てかります。持つて終り

ないかのうし、 大同じからず ― ちゃてはつこ りな人を調でるのはおもしろない なるべく、間せんが針ちゃのに、 庭 0 秀 高 音 蕃 な

弊社特約店にて

是非最寄りの信用ある

優 ブルスブリング、コロ リングを使用したるダ ボツクス、瑞典製スプ フレツクス型ホーンを 重厚な威容、九十六时 大第九號の優良サンド 備へ音質明朗、音量雄 の長大なるプラノ、リ **り**ルをはめ莊重にして

大道少佐・紫内役として日本の大 一般を禁む陸軍開係者及び浦州國駒 一般を開始として日本の大 一般を開始として日本の大 では、一日午前九時最「は としまで南下したが、戦戦には小 としまで南下したが、戦戦には小 としまで南下したが、戦戦には小 としまで南下したが、戦略には小 としまで南下したが、戦略には小 としまで南下したが、戦略には小 としまで南下したが、戦略には小 としまで南下したが、戦略には小 としまで南下したが、戦略には小 けさ新京を出發 満蒙の戦慄

直木三十五作

(142)

枝次

道木が、即手の歌をして 下手な話で、漂花能な明った。 く、煙草な天井へ吹き上げて

【神戸」日数】神戸東亞ホテルでの外に知人はないのです。しかも 日本における最後の一夜を明した 微が、何なしてたるか知りません 離光不氏一行は一日正午出帆の敵 でした。たゞ、成坊してたると陸 燃あめりか 鬼で小學兒家代表六百 いてぬましたが――それが、密婦でしてらればられ首氏多数の秘密部に一路 人といふ不正行為の成功だつたの事。 大連へ向って暗画の途に執いた でした」 神戸發大連へ 名 でした。たい、であしてなると間でした。たい、であましたが一といいででした。たい、でした。たい、であってする。といいででした。たい、であってでもないのです。しからでした。たい、であしてなると間でした。たい、であしてなると間でした。たい、であしてなるか知りません。

▲楊井勇氏(正隆銀行支配人)同日朝入港ぼいかる丸にて着連日朝入港ばいかる丸にて着連 同て、上東の顔を、眺めてゐた。 にも、その歌にも、後悔と、跳っ 上東は、鏡を下げた。その影楽 大佐が、然って、ボケット

つかみ出して、テーブルの上へ置

あり

但しE號は電気モー

ターにて用器の相違

ターのみ

ムビアにして比像素品

は報を

扉の内側に美麗なるグ 褐色マホガニー堅材前

金三百六十圓金三百十圓

第二二六號

盟會議 理事會 に力を注ぐ

が正融機能代理として見近った
一日驟期水子養地で機にて修涂に
一日驟期水子養地で機にて修涂に
一番のまで

▲ 毎田忠雄氏 (輸入組合理事) 同

▲濱尾保氏(海貞組合支部長)同上

日午前九時發漸京へ ●機景惠氏以下大演習腔觀武官一 行十三名 一日午後七時五十分 着速の縁定

出淵大使離滿

店員)同上店員)同上

上氏 (呼海線派溢洲競技 八 (全臟指書館官) 一

及 (綿維野藤) 一日年

治氏(佐世保鎭守所法務

張景惠氏一行

「東京」日参」 深る鳴監理事會に数であジュネーケの空氣は最近死務衛に達して励る、耐した日本として応じて許すを得す、報告者の影響は調査順が理事會の決議により伝命さは日本と認定すべしとの縁続しあるので外務管局ではまだ緩緩は避けてゐるが、思州丁日本な强闘すべしとの縁続しめ名の空級震闘であるが、水園鯛の忽鑑識者里には野社の間に政治的妥協點を見出すべく報告書の審議の知识を見るが、思知を表している。 如き も急速 な處置を避けて理事會の際會しは最近通り理事會を十四月より關き、三日間位で認會には最近通り理事會を十四月より關き、三日間位で認會には最近通り理事會の際會して政治の影響をおけて、大陸問題能で大國側は日本の主 して理事會における我障容は大機左の如くで

省大使、伊藤巡史氏は聯盟側及び小國側ミの折衝にして活躍する

理事會は二十

、松平、長岡南大使は英のサイモン、佛のエリオ南氏さの側面的折衡に常り佐藤は、親告書の討・謫應酬が行はれる際は松岡全權が理事代理と、第一日の總括論は長岡駐佛大使が行ふ

に延期か

事會能長の構成により理事會除會日を一選能延げし十一月廿一日とするものと信でちる 日本は十四日理事會除會迄には間に合はて営と答へたが、聴監能内には日本の意見書が十四日に暫いても事務局瞻の響倫の都合上結局理期如候によつでは多沙邊延するかも知れね、即ち最近線証事務局總長ドラモンド氏が長崗代表を軽、日本政府に意見書揺出時期を贈會し期が候によっては多沙邊延するかも知れね、即ち最近線証事務局總長ドラモンド氏が長崗代表を軽、日本政府に意見書揺出時期を贈會しまされる。 日

の選舉日和に投票は好成様である 旅順市の

程してこつそり出て 旅順の満洲人側官選市會議員に任 保際、明治四十一年旅順市衛生 銀軍市新市場向一五 保際、明治四十一年旅順市衛生 銀電会資産、第一司(松(五五) 官選市議

長春總領事

加

な押すなで詰めかける。 演れる一環も無い原しい顔して 0

韓復榮、溥張らの無力を見縊つ

を、野太閤が東現し四百餘州に活 と、野太閤が東現し四百餘州に活

云って、簡素をつけて

が、なつかしくて、調が出てきた ていりや、御馳走ちゃ、帰紀が立

サウンドポツクス、ホ 褐色マホガニー仕上げ ーン、モーター共にコ 着いた感じを與へる暗 ロムピアが誇る優秀品

澄、音量雄大、高雅落

らにも置かれる音質清

も、西洋間にも、どち

方には最適な日本間に

は音が不滿だと思召す

過ぎる、テーブル型で

コンソール型では大き

滿洲國

げ歌迎を受けれく名派は其の一行で中央教代表大き日午前九時中宮城を選拜置らに情国神社参拝のとこ日午前九時中宮城を選拝置らに情国神社参拝のとこ

二十八日夜人京こち満洲回転人使 ホテルに触駐日代表を訪問。

備隊と完全なる連絡をなず

大王師歌は、 大王師歌は、 大王師歌は、 大王師歌は、 大王師歌は、 大王師歌は、 大王師歌は、 大王師歌は、 大田歌ないののでは、 大田歌ないののできない。 大田歌ないののできない。 大田歌ないのできない。 大田歌ないのできない。 大田歌ないのできない。 大田歌ないのできない。 大田歌ないのできない。 大田歌ないのできない。 大田歌ないのできない。 大田歌ないのできない。 大田歌ないのできない。 「日日子前十一時

日

兵匪四千に包圍され

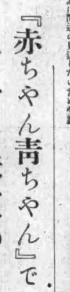
泰安で滿鐵社員殉職

安藤は全る二十日年後六時から即版の包飾攻撃を受け職害は極端により破壊せられ浦鎭巌遺遺は鉱土月常安からチチハルに逃れ来つた滿洲國人住墓の謎として一日繁地某所に入った情報によれば、 **加軍奮戰八** 数名の強減者を出した結構であると 八日間

大学校、大学校、自己同日午首十一時 は神、夢の表際の表記像歌歌、一話に取り完全によくその伝染を表記像歌歌の思いのため新原より は様大夢の指揮する〇〇隊と織道 がため際を様大夢以下敷名の歌を観記する兵庫や攻撃しその形と絵 一部であるがまる十月廿日午 者を出したがこれに脈ゼず一同歌歌が音楽がの西が地際に強端に 前六時頃長海東北が及南が攻撃し来 かため際を様大夢以下敷名の歌を観記する兵庫が攻撃し来 かため際を横下すなと高手がする兵庫が攻撃し来 から山 おから 一人となるとも兵 が 1 一般歌歌の思いのため知識の思い。 の目的を楽した、 2 に楽安光像歌 の攻撃し来る 節に猛撃を加へこれ 数の悪賊のため 伊藤の思い。 の目的を楽した、 2 に楽安光像歌 の攻撃し来る 節に猛撃を加へこれ 数の悪賊のため 伊藤の思い。 泰安の守備隊 部郵便物搭載

内地大連間の大阪機能定期機中あ 合の指表を受け無関係は搭談され 合の指表を受け無関係は搭談され なかつたが今時間省今を確正され 事となったが、この結果定別能は も剛便物を積む事となった

で一部令部では非令管以下条款を 全さした。この概を得た我關東軍 を対した。この概を得た我關東軍 なに曇きに決定せる大連航路船 なに曇きに決定せる大連航路船 の門司埠頭使用は二日大連出帆 うすりい丸道に三日神戸出帆う ちる丸順船の四日同地安航より ちる丸順船の四日同地安航より 由で歐亞連絡



一名珠數つなぎ 一網打盡に賭場檢學

月二十七十件り受け学校を取って 解阅集が概公園町様田工廠から十一地 有の賭場に楽野、美服業の保証で の保証での保証で

同沙河口酸社に銀類して無事師

時機は

不利製作報

旅順も凱旋 た(寫眞は大速驛順で)

南西の風(晴)後墨南西の風(晴)後墨南西の風(晴)後墨 清瀬(午續) ○時五分 千瀬(午練) ○時五分 各地氣温 一月午前十一時 ※天一三 ※天一三 ※天一三 ※天一三 ※天一三 ふの小洋相様 子楼

味は良し し

MAT INCOMP



接交

入渉を前

が積極的武

わが軍を攻撃

し 來る

樸炳珊の兩軍

齊に

水久駐屯を 希望し日滿交

共同印刷進出

て住民の総の確になって

七十一ケ村から集り 東邊道村長大會開催

盛大な紫簾を行ふこと、なつなで水連するが、緑澄師では五日午で水連するが、緑澄師では五日午で水連するが、緑澄師では五日午

施職した満郷社は岩本権総氏およ の本した満郷社は岩本権総氏およ が二十一日帰職した岩郷館男氏の

てるたザパイカル鐡道爬由モスク

瀧原間連絡列車を去る十月十

岩本、岩瀬兩氏

鐵道部葬

歌時間)および曜日は左の姫くで なほ連絡列車の鴻磯養養時間(東 **丹水金**日、八時三〇分 水水金土、一九時八分 上て かが容部隊は職合して通化附近の上のが容部隊と民衆郷化に努めつとある (1)

渉委員打合せ 軍司令部ご交

一日午前九時党から市内三艦の三階文服賞を選べて他表者を重奏が 表者嫌重の上展響りな果服策が続付された。明ち吳服大輔と勝樹 表者嫌重の上展響りな果服策が続付された。明ち吳服大輔と勝樹 表者嫌重の上展響りな果服策が続付された。明ち吳服大輔と勝樹 を村長大會を通化で十月世七日際 七十一ケ村百八十峰名の多きに塗 し我各隊の前勝者に特派されてゐ し我各隊の前勝者に特派されてゐ 上海で調査團 襲撃の陰謀

の手配に飲きる が養養した に汪標常され取り ン臓 一位に配響な加ふ器器を進めてゐたものであるが響に接ぜられたものと同一想の職より更に驚くべき陰認明。中場職を費息道及したるに在場職に常て宋子交遊取職、中場職を費息道及したるに在場職に常て宋子交遊取職、中場職を費息道及したるに在場職に常て宋子交遊取職、中場職を費息道及したるに在場職に常て宋子交遊取職、中場職を費息道及したるに在場職であるが響に 警戒嚴重のため未遂 も出来なかったものであるとなば背後

息子を訪ねて

沿線警備の 重任を果し歸る 大連各署派遣警官隊 瀬器を外器は多数に出述べられては同列車にて沙河口器より下東三 見登見保護端置し目下原會中であ 郷玉雕により上際単々大連水上第 地にて歌達したが起夢でよりの電 上で歌達したが起夢でよりの電 上でいかる

給仕投身自殺

十後五時體溫三十八度、一杯 中橋氏良好 「中橋氏良好」 同人の例会を西公園南華園にて明治館)午後一時より清州短歌會 十一月三日

7日まで

產名津天

店 割引大賣出 二周年記念 一粒撰 18錢 御徳用 13 錢 正味 700 奴 2.26錢 正味 450 太 1.63 錢

小包值段

浪速町。 電。 22283卷

電。22044番

連組滿即河影市連大 井 大連支 三他 借九六八七話書

ミノルヤが 天津燒甘栗 を始め まし た

實果級高 ブラルー

店物果ヤルノミ 香三七八三電

大阪遊鼠権

頭痛にノーシン

ル定例ダ 周 ンス合 告

犯人受取りに豆腐屋殺もの

順の豆腐屋殺し犯人須悲三等

科

一月一日(水曜日)午後九時 場 念 大 連 無 料 7 木 テ ル

の 最大下海壁機加騰等を始くられた 関係一同處力な出郷へあり引端者 のを持ありそ G人連が「空の兄弟七人が貯金を集」 「一般と歌歴中墨の正服な着た兄弟三 一般と歌歴中墨の正服な着た兄弟三 兄弟が貯金を 報國號に献金 へく準備中である「奉天電話」 抹體操講習 全ゆる 常用に……… (白、八、飾、茶)

冬仙定價-

御用命へ 司 山龍 本盟 電話四五七字 行

高級油繪

繪之具と

帝展エハガキ

参りました

連續領心資福通で電話

常

盤

號門

分

店

恐続するや戦而目

奉天各校で

體育獎勵

七

小羅 倉紗 今の日本空艦は海事法制に依り出入し得るも同地は水陰澤地ない場合を同地は水陰澤地ない原底は海峡は一田、原底は海峡は一田、原底は海峡よりローカル物質の

り見ても渡野斯にしくが年に の見ても渡野斯にしてが戦の監 不便なるのみならで終後 の監 のとして連続になければならず、 でのなるのみならで終後の監 のというならで、

が現在の出鉄過より推して十萬朝 計 製内容は極極に附近られてゐる 計 製内容は極極に附近られてゐる ・なつた、此の結果很深微薄草を は大拉螺を受ける調である に基き違く自由液を膨止すること る我可見(昨年輸出網干八百萬個) に基き違く自由液を膨止すること る我可見(昨年輸出網干八百萬個) が今後は開税を繋げることとなり が今後は開税を繋げることとなり 輸出組合對應策

る ンジケート銀行脈と記が離より入 で は本年度中に養行する事となりシー は本年度中に養行する事となりシーで は本年度中に養行する事となりシー 新嘉坡自由港

實現後內地筋大影響

(四)

明年度より開始か

一日の滿鐵重役會議に附議

鞍山の鑛滓

各限五六圓高

大連工業會社與砂桝田憲道氏は此 て各紡績業権 一日午前八時入港でいかる丸 の方面に解来 にて帰述したが認る 内地は最近園價の崩落に依り綿 明らつ、ある、 本布殊に薄物帆布等の輸出多く 水布殊に薄物帆布等の輸出多く 内地は最近園價の崩落に依り綿 明らつ、ある。 ではない様だ。 ではない様だ。

海關の統計作成

我貿易界に大打撃・

緩りでよい

北海道一帶は非常な不況

内地視察中の雰田氏談

預金部新官制

長以下の任命を見十二月一日より

中村安東稅關長

連度に参談同作は保の答と を要称の明編をするたよー般で を要がい明編をするたよー般で とと事務の明編をするたよー般で が関係し、経底前校園 を表して赴代、経底前校園 を表して、経底前校園

倫敦的電纜(一個):志兰人分 維育同電纜(全音個):10兆m分 上海问電纜(同) 七種0) 日本向電纜(同) 10無個0) 日本向電纜(同) 10無個0)

替相 場

緑を乗せて

日・二日間

綿糸も暴騰

麻袋品 騰

告部電四四九一番



線各地の御用命は 最寄店折~…

主演・鈴木澄子・特別出演東妻二郎由此正零 年日 思い切り

版提(編二第) 当集りよ津沼 多 主編『迄川井大

でく、青

0





國際保

明年度 より本事楽に着手

近き将來に於て

金利向上か 楊井正隆常務歸連談

日

人港ばいかる丸にて静連した野行荒粉楊非朝氏は一日午前 内地の総流狀況につき左 大連輪和神事電出心嫌氏は東京、 大藤、北海道方面に融続液管中の 大藤、北海道方面に融続液管中の 不況振りだ、満洲方面さは海 ででるさいふ大量取引のみ行は を変は汽船をチャーターして約 で変は流路をチャーターして約 にであることが、 を変は流路をチャーターして約 にであるといふ大量取引のみ行は

満鐵會社を除外し 石炭共販會社設立

來る二十六日創立總會開催

開港 で「東京」日数「福院整職会會は「定ななすが代であるどで、東京」日数「福院を輸送を会社「資」、「東京」日数「福院の転資が制なる」、「東京」日数「福院の転資が制なる」、「東京」日数「福院の転資が制なる。 大連高い 一月二十六日鶴立機会配館、計算は、市内大山通り所在の大連の日間となるする。 撫順炭移入は追て協定

大連商會

月二十六日館京都會能能、社長は、市内大山通り所在の大連市融合でり、 野、戦和動場役(北海道影響では、すった山通り所在の大連市融合では、大連市融合の電影を三唱、気後記 を経対したま、設立するもので標 を経対したま、設立するもので標 を経対したま、設立するもので標 を発がしたま、設立するもので標 大連市融合の電影を三唱、気後記 を発がしたま、設立するもので標 大連市融合の電影を三唱、気後記 大連市融合として電影響、かくて を経対したま、設立するもので標 大連市融合として電影響、かくて 別に、表現した。 大連市融合として電影響、かくて 別に、表現した。 大連市融合として電影響、かくて 別に、表現した。 別に、表現した。 大連市融合として電影響を発力と認った。 別に、表現した。 別に、表現した。 別に、表現した。 のでは、また。 のでは、 ので

近く實現を見む

江原海事部長の現地踏査

版を以て一巡し、明報までは発と ・ 明を以て一巡し、明報までは発と ・ 明である、なは幹疑所の事務所 は協談町含るとで一覧市場外殿にあ ・ 明であるを廃締の空くのを辞って情 ・ 明であるでは、明報までは発と ・ リ、現在北支那湾果株式會社が借 ・ リ、現在北支那湾果株式會社が借 ・ リ、現在北支那湾果株式會社が借

手敷料問題は大體決定 利益金社內保留

長產物斡旋所

當分は試験

◆ 内地の夜影戦で食が関格維持の目的から漸級をこれに発加された発加された

すった。 大連監會監定物共同配資幹統所取 に懸起された。そこで中央配資市 と機能の騰強のためまである。 が、本ものは六分の手数線を置することである。かくて軽低所では、利益の都)本商品質の 正式に取極める響だと幅へられる。たしのである。かくて軽低所では、利益の都)本商品質 正式に取極める響だと幅へられる。たしのである。かくて軽低所では、利益の都)本商品質 正式に取極める響だと幅へられる。たしのである。かくて軽低所では、利益の都)本商品質 で表した。内二分を解析に特定な 左の如し(側単位) 本ものは六分の手数線を置することである。かくて軽低所では、利益の都)本商品質 大三七本金銀光釜金 大三七本金銀光金金 大三七本金銀子 大三七本金 大三七本 大三七本

三十九國三十段 株(保合)

tttam |

大

大連市山縣 通り

▲再差引三七、OO六

内地筋景氣弗及

一日歸連の桝田氏

【東京】日發】大藏省主部局明年一度課第音完會議、陸軍課館新規事

豫算百五十萬圓承認

るべく今後學良の策証。 天津、学長は楽皇島、天津、学長は楽皇島、天津、大しれて繋が那個と完全な對いて、滿洲國と完全な對いた。

電点 は 中央の金を依ち省外に移動の一切は標準と中央代表との間に協康の一切を表し、正東の政権一切は標準の一切は標準があると同時に確求があると同時に確求があると同時に確求があると、日本の世界にあると、日本の一切は標準があると、日本の一切は標準があると同時に確求があると同時に確求があると同時に確求があると同時に確求があると同時に確求があると同時に確求があると同時に確求があると同時に確求があると同時に確求があると同時に確求があると同時に確求があると同時に確認を表すると同時に確認を表すると同時に確認を表すると同時に認定している。

蘇坡不可侵

條約批准

小學校長の

「マルソー三十一日教」
高地政界
「マルソー三十一日教」
高地政界
「マルソー三十一日教」
高地政界

チリーの革命

一段落

納金制幹部制度

愈よ廢止に決定

常議會召集な決定した

関院式 二十五日大正天皇

量博士村尾圭介著

樞府ご考查部

松岡代表露都で

意見書

年度除寒は冷暖されたいと違べ、年度除寒は冷暖されたいと違べ、

五萬個を要求したもので歌楽歌の一五萬個を要求したもので歌楽歌の

外務書記官 小野

海軍事變費

定例閣議々事

閣議で承認

勞農當局と懇談

三日間滯在の豫定

見積を替

通常議會は

東京一日養 高橋職権は一日職 海軍管康京に就を挑衝更に関係を 海軍管康京に就を挑衝更に関係を を行び明年度陸軍集第に関し三十 を行び明年度陸軍集第に関し三十 を行び明年度陸軍集第に関し三十

山東の形勢轉化

トマス(社會) 一四八〇七九フーヴァ(共和)二一五〇三九八九

天津電車爭議

武力彈壓か

對岸に學良の勢力

滿洲』の關心を增大

十二月廿四日召集

大蔵省議で再調査決定

マイギリスの野海耳島線陸間でイギリスの野海耳島線陸間

英外相、下院にて答辯

で之によりロンドン條約による練にで之によりロンドン條約による記ととなるので変部は十二年度以降におい 通常の大部がは補充されることとなるので変部は十二年度以降におい 通過

には解務人民委員會次長カラハン「會觀すべしと期待され居り、満洲人民は目下モスクワにあり、三十日 に更に非公式にソウエート大宜と独の使節として派遣された丁士源 した、なほ丁氏はモスクワ出教前・モスクワ三十一日費』満洲國版 氏と會見、洒儀執政の敬意を聴選し

満洲の門戶開放は



勞農の報復注目さる

英露通商條約の 廢棄とその影響

常通融係級の密塞が登表された。 に他減をの通融開保にセマル大れ に他減をの通融開保にセマル大れ をものと見られてぬた歳、果然英 なものと見られてぬた歳、果然英

マス氏は休倉明けの議會におい

溥儀執政よりの敬意を傳達

露都にて

亅滿洲國使節

国本認問題の促進を希望す

チャイナプレ

説明あり閣議し水源した

総人像戦職成方針については同日一度を決定したので一日からは総出一定を進める事にして見続り替を為了事になった、師く一の省議で大蔵省としての根本的應一像第甲の各省新規整

海軍缺陷補充計畫

一年繰上げて八年度より着手

豫算四億六千萬圓

スの虚報

あしく歩みかり、今日何等の支際ノンアとはこの協定な契機として著るロックでは、野工業製品に満してゐるロックでは、大き、野工業製品に満してゐるロックである。

路を置いたも

時の外間オースチン・チェンバー

合んであたの

電影跳廊を中心にして 概念れない保護の反路政策がことは歌せられたのであるが めのみでなく、 「教師にロシアと があるといふた りのではなく、 「九二」 マ に決したことは歌にこれがオッタ に決したことは歌にこれがオッター は いかってなく、 解説師にロシアと は かのみでなく、 解説師にロシアと

事にして監査した の資格を耐臭せんとするものでお 事にして監査した の資格を耐臭せんとするものでお 事業が議會の認定を終た場合は明 単葉が議會の認定を終た場合は明 体質の人類者より質権の 体質の表質を対象を対象を対象を対象を 体質の表質を を表するものでお 遞信局長異動

佐顧克本官 (佐顧克本官) 佐顧克本官 (佐顧克本官) (佐顧克本官) (佐顧克本官) (佐顧克本官)

海軍將官會議

二日より開催

「東京」日登 選信省部 身体験局 を香画体壁氏の関係電話會社入り に性ふ局を誠は「日の際語で左の が、決定した 選信局長(名古屋)

抵情易保險局長(廣島) 任情易保險局長(二等) 网 際百會議並に進級會議を開くこと

任護信局長(二等) 「任稅雖局長(二等) 「任稅雖局長(二等) 佐名古屋通信局長(二等)

後 ア 野ルーズヴェルトの派試合は輸出となったが、リタラリーダイジーを付けるとなりフーケイジールトの派試合は輸出となったが、リタラリーダイジー

投票結果 八日の後となりフーグ

米大統領模擬







若乘光建物 下¥4.00 下¥2.30 弘高教授理學士 物理 上¥3.90 力學 上¥3.00

選舉は近日に譲り天神に脚乳み湯。 【天津一日教】アメリカ大納毎の

米人に不人氣





結核を療す道は養生法たが

0

信濃町市場前

振春東京一五九二九 古町女 料 堂 東京日本橋通三丁目 古町女 料 堂 (新物電装 人六〇頁)(定價一・八〇 〒〇六) 井上醫院 生殖器障碍

大連市西達(常監衛所(計例) ・電話六七五二年 -

引越 荷淖

大演習陪觀の途次 兩張將軍來連

憧れの日本訪問を喜びつつ 一夜を大連に明す

歌し張敬感氏は離る 一祖とたが、車中出逃への記者に

の三共は通信を ・地口に が、地口午後三時催逝出版の日後地でデ ・文化協會主催 を極め着く場像をして居たが、一

きのふ横濱出帆渡米

獨政府回答保留

有吉駐支公使

八日上海發歸朝

蔣の提案を 日米親善の

韓主席拒否

築路計畫

海軍々備休日 堤鄉政務次官

養の骨と呼吸とを試く。 實に療養道の機 再生の裏びを得られよ。 村尾博士の軽妙 なる。正しい療養道を懸んで、 難力と標 変力と表 發行所 顯熱原增 大學前題 長 崎 書 店 「著名書店にあり。品切の前は直接申込れたし) 一般者) 光明と希望とのために、本書を様げる。(出版者) 光明と希望とのために、本書を様げる。(出版者) 光明と希望とのために、本書を様げる。(出版者) まる。 役」と折紙をつけて唇られ、且つ専門大家の推携おか 高野六郎博士が一緒 全なる

作ープス著 馬島伽羅







次 尿 器 病 湯 素

紋日里、問 里、問

地方資源館

支那の軍隊

その組織と分析

本稿にフランス人の調査に係るも のであるが外人の調査したものと

的に人気を高めてるる抗病、基皮管の博ふるだっ、強て計場中の基準の実施の関節式が単行されるこのことで、消滅問題の単純

定力して古

の決定と小野田崛との突機の結果と外野田地ととは一に今後の消滅重役會議でかけ一に今後の消滅重役會議にか野田地との突機の結婚をかけった。その際資本の額當を別側になった。

秋らく沈都の藝にあつた安東木材、塚天以北仏師の繋材及び杭木は六 新京、四平御、微書線が顧で頼ったの木材外は注味が影響の大正七 んで像然人僧といふ驚美能數学な 一ケ月に六年度一ケ年分の輸送高を見る 株に次ぐ盛況近りで特に黄金時 から二僧やに達し八月に入るに及 と郷七子録道であるが、昨今では一代を現出しつとあり高架者は続く 十月の十僧を緩動するものと見ら 者は有野に入りホクノくもので工作を現出しつとあり高架者は続く 十月の十僧を緩動するものと見ら 者は有野に入りホクノくもので工作を現出しつとあり高架者は続く 十月の十僧を緩動するものと見ら 者は有野に入りホクノくもので工作を現出しているる、記して安東森村、塚天以北仏師の繋材及び杭木は六 新京、四平御、微書線が顧で頼っれてゐる、記して安東森村、塚天以北仏師の繋材及び杭木は六 新京、四平御、微書線が顧で頼っれてゐる、記して安東森村、塚天以北仏師の繋材及び杭木は六 新京、四平御、微書線が顧で頼っれてゐる、記して安東森村、塚天以北仏師の繋材及び杭木は六 新京、四平御、微書線が顧で頼っれてゐる、記して安東森村、塚天以北仏師の繋材及び杭木は六 新京、四平御、微書線が顧で頼っれてゐる、記して安東森村、塚天以北仏師の繋材及び杭木は六 新京、四平御、微書線が顧りてゐる『安東電話』

いから新工場を鞍山に隙段すればいから新工場を鞍曲に線みがたしれし殻織の需要増加は線みがた

度には漏洲の護

場は年十三萬職を生産し(全能力で現在局水子の小野田セメント工

一 二百萬圓

日

結果如何

大連市議選舉

社

說

別すべきであらう。 別すべきであらう。 鞍山鑛滓沈工場案 練り直しに決定す

し小野田セメントに經療せしむる 滿鐵重役會議

おいて谷地族事部大長より変奏にちら、なほ一日の清銀重役會議にして谷地族の現出するに至っ

間する靴表報告あり、

満鐵の新職制は

「東京特體一日體」十 支持本郷文郎氏その他 表標本郷文郎氏その他 実にしつ・漁艇炭脱質 実にしつ・漁艇炭脱質 ででつき成かを披掘した でする。

對策無く形勢觀望

◆勿論この数年來老虎難方配には一てないのではないかと思ふ。

職山のセメント工場問題を影響、清緩重役會議は一日午後二時時隙

關稅重壓から 屑く袂を分つ 協定長き撫順開平炭

本 ピン、上海、天津における賣炭協 定につき報告あり、総つて八年度 定につき報告あり、総つて八年度 ではいき報告の影響をなら、午後四時版 一行の來訪を受け影談時

本月中旬に發表 山西理事上京拓務省に說明

撫順炭移入數具

谷川次長の上京を待ち取極

機とが協議とない。 取締める事とし個数事部次長 が協議した。而と

東京支社に出

需要は昨年の十倍 電東京特種一日盤】 職に清鐵斯間、 ・リ 対ビルの東京支社に出版、 なこととなった、山内中郡は附来 ることとなった、山内中郡は附来 ることとなった、山内中郡は附来 をこととなった、山内中郡は附来 をこととなった。山内中郡は附来 で、近内中郡は附来 で、近内中郡は附来 で、近内中郡は附来 で、近内中郡は附来 で、近内中郡は附来 で、近内中郡は附来 で、近内中郡は附来 で、近内中郡は附来 で、近内中郡は附来

安東木材界の活況

十數年振りに黃金時代を現出

1 とり引着その他重要計称に語る 八年度満般留學にとになる機様である、今日次の 取役會職にかける語った。 である だ自分の仕事もきまつてゐない である

人戦は八、九名の豫定 がけられたが、二日決 が見れたが、二日決 日發表さる

人貨物に

ク番號記入

開東艦群令開東艦群令開東艦群へ高山の野科の東部であった。 最後の幕だからと念た入れる所行 に含見せんとす。國際關係を被称 でんとする國際政権を はなとする國際関係を でんとする國際関係を でんとする國際関係を でんとする國際関係を でんとする。 の表にからと念た入れる所行

麻袋變らず

綿糸先物安

は新規買物あり相當耐内活況を呈り作ら先物二個搬み安全入れ當市り作ら先物二個搬み安全入れ當市

迎款書按 **产**及行士五

◆概の電車で町の中央部に出鉱して、炒茶この罐では暗くなつてて、炒茶この罐では暗くなつてて、炒茶この罐では暗くなつてであるが、炒茶ラッシュアワーであるが、炒茶ラッシュアワーの老床塗練の電車の配車が充分へでないのではないかと思ふ。 茂雞

・ 出来るだけない車で、出来 ・ 出来るだけない車で、出来 ・ 出来るだけない車で、出来

マーク及び番號を附する世襲即ち箱袋幣包等の上

製作する旨を教表した

◆戦めて覧ひた でないの

権から老虎歌に引 に備へた七戦の一

◆しかし、が洗めの常磐橋の老床 整法館やき安全場際に職がる際 を埋とみられるか、そして次 の電車も次の電車も、常磐線か ら溝載以上のすし詰めになって を溝載以上のすし詰めになって

解た求めた。等議録新規計畫に就き詳細説明諒 武藤全權挨拶 支摘ひマークを付すべきに寒棚監督の下に普通手に寒棚監督の下に普通手に寒棚監督の下に普通手

國務院を訪問

鐵理事 新京における第一夜を明した武藤 一で、大いで国称院を訪い郷岡務建 で、大いで国称院を訪い郷岡務建 で、大いで国称院を訪い郷岡務建 で、大いで国称院を訪い郷岡務建 で、大いで国称院を訪い郷岡務建 で、大いで国称院を訪い郷岡務建 で、大いで国称院を訪いの郷岡務建 で、大いで国称院を訪い郷岡務建 大橋外交次長 為替暴落と正金 の大橋湯洲國外交交長、配野總務の をづ耐大官より郷重なる航池の をでは、別郷長全部出席、 をでは、別郷長全部出席、 をでは、別郷長を記した。 の大橋湯州國外交交長、配野總務。 をでは、別郷長を記した。 の大橋湯州國外交交長、配野總務。 をでは、別郷長を記した。 の大橋湯州國外交交長、配野總務。 をでは、の大橋湯州國外交交長、配野總務。 をでは、の大橋湯州國外交交長、配野總務。 をでは、の大橋湯州國外交交長、配野總務。

齊保合閑散

十河滿

十分はさ就にて 対京出張中の 處一日午後七時五 大坪正氏(蔣樂旅館事務所長) 日午後七時五十分着はさ號に「球徴氏(淅州國護路軍總司令) 同上 (滿洲國軍政部軍事課 同上

風引籠中のさころ一日か 大氏(満線地方課長)久 楽連選東ホテルへ

滿鐵幹部訪問

滿洲日報社

で延期の概念では、 一でを見書が出来る。 でを対したのでは、日本

◆現物技場
○現物技場
○現物技場
○現物を 洋刺金 無男洋
一時中 10名13 10名13 10名13 10名13
二時年 — 10名23 10名10
三時年 — 10名20

◆定期後場(単位性) 新行高値安値大引 新行高値安値大引 新近10至010至010回 加米高期近1千百二萬個 金は七国産業せるなり取りであった計量らざるも利喰一巡爪機ら高

買氣再燃し

御相談に應じますの線楽に闘する総での **南** 競造製薬 膏の確的能効 **党时六五四四番** 大連市兒玉町三 弊局製劑 多少に拘らず御用命願**ます** 清明大幅の御方は通信版 東部大幅利用順びまする 一個語の大連三〇一三 一個語の大連三〇一三 一個語の大連三〇一三 一個語の大連三〇一三 伊 大特 1 風 腐赎

三二二十 蒸餾水は南日採館シて居ます 债券專業

一千圓高八

東新 向食率は市納清新の物を特に選擇して窓上げます 是 旅館 電話四六四六章 館

大 不不不七七不〇一七七後 長期 日申申〇〇申〇〇申〇〇 緊縮節約の折柄 特に宿料の勉強と親切叮嚀を モットーと致します

國際條約集型

際平和縣條約集

満級新

一日 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 古 市 古 市 市 大 佐 養 士 佐 接

東新は一門十銭高に寄り一、東新は一門十銭高に寄り一、東新は一門十銭高に寄り一、東新は一門十銭高に寄り一

月 資切れにならの間に御下命順上ます 日前日限り 酒 Щ 類 通宅 食料 000

8 名産

モドッナ

のです、脂肪の出たアトは比較的です、脂肪の出たアトは比較的なせるので脂肪が軽く出て来る

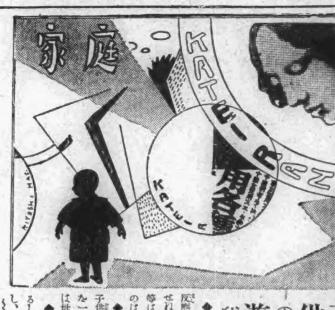
通り締跡に切れます御樑十八銭一脚切るのです総にも縦にも収みをのせ織皴線のついた上の楔で

も日に日に新しい重要なものが現

福切り 鰤線製ニッケル綾

卵切り

原因は色々ありませう



ニキビが治る

でなく延びる勢力と共に管内と も自然に元のやうになり却て以前り、それと同時に食物だけの数。 売されたやうになりますが、これ食よりも飲食の方を養ぶ焼きが 皮が艱難しまでため、一見皮除が育旺魔な時代にある者は食物は 脂肪が破壊されると兆に皮膚の表育旺魔な時代にある者は食物は 脂肪が破壊されると兆に皮膚の表 で、其後の化粧は斯うで、其後の化粧は斯う

・ なるがもありま 同様に紫外光線版を二、三分間から、皮膚が少しがけましたら はましたら毛板を刺説し、毛髪の 生長を促しまず 【東京美容院線水・大河三比・レモンクリームを使 「十代子さんの話」 輕便で能率的な

用しますと日敷が終過する中に自然に締飾になりまず毎日の手入れ

書前手を洗ふ智慎なつけさせてる 事前手を洗ふ智慎なつけさせてる 多いのです、 上級生になるに從つて

重海採り ニュームは、佐城 たとらないから便利でせう

作品 一八総の女子ですが終地年前から左手の甲の戦揺の下で手前から左手の甲の戦揺の下で手向から上ろに艦のくびから一寸位のところに艦のところに艦の

思います。で何い

お臺所道具五つ

お気に召せばごうぞ

リオン、

二つの治療法

腱の過勞による方



夫な慰めむかな 〇 ルンペンの群の一人に加はりね苺の紅きなし 苦盃受けて涙か呑めご美しき草き積性のせめ みてあれざ母は懸 失職のうた 0 0 【答】カングリオンだらうと思います、親の過労から来るものでお針をする人や手先を始終齢かす人によくあるのです。職権から養人によくあるのです。職権から養人によくあるのでする職権から養して水館のやうな内容がを持つ す、この方法も一度切りで治ることでは、この方法も一度切りで治ることでは、

て姓しく

つてゐるのです



を放けているがらないで、 をが離まり、パンへ参るのに思 いたパタにまぜて置くと歌かに れつて、自由自然に認る事が出

用したがかって簡用です。そしば、くづやにやるより上手に利 古新聞紙を

パタにレモン

マンゴマオリテユキマハンゴマオリテユキマ

紙数校をかされて、これで橋かまた鍋などで物を煮て、さめの 間のよごれ 他爪の間に伸かがる

軍域の状を流してるます。現在も子供の世界は正に事態以来鏡カアト時代となり、現在も子供の世界は正に ヤング殿のが全郷だそうです 附近の子供の話ですが、

◆…世親は先づ修養すべきです、そして環 のは繰り感心しません。だがこの地臓は子供にはつかないのですらは大気が構ですが、探偵こつこや、殊にギャンが遊びなぞといふ反應して、子供の玩具や遊びが魅って行さます。ことに比糊が智恵 子供の観覚は緑桜にのみ委ずべきではない ・家家に追ばれて子供を省みる暖のない家庭もありませうがいり感心しません、だがこの辨職は子供にはつかないのです

なきんかけ 螺数氏順及ニカー なきんかけ 螺形によります、先がすべり ボラネさんがすべり 螺旋 にいまります、先が

が、ともすれば数れ書外のこと いたとへば最近のやうに素晴らしい ないでいる間に流行した急性トラ 時々がかっというです。 は大かいつというのに表しているのです。 もすがいつとい意の大多数(や分 ものです、しかもこれば下続生にやり ものです。しかもこれば下続生になり ものです。しかもこれば下続生になり 見一童の 教育に保護者が 「大童」の 教育に保護者が

グリ 〈 が出來た 手の甲に押せば動く 顧

るのです。卵電のハンカチは脈い 切って隔の方に三角にでも痛を切って繰びつけて名前を寄いたのを を放び、緩け立れないやうに学 たなにあばれても気かことはあり、かれり、スカートなり遊覧などこ 菌を手につけるとに と後い美味しい電過が一ばと後い美味しい電過が一ば ります(債格六銭) 下へ降ちて黄味だけが郷地に宛 があるます、味は桜の濃から



婦人子供服

大速友の育

病に称ること 手を扱かないで

半分以上ハンカチをトラホームや其他の傳染病を

服装検査すると



日から『新京』行奉天曜の筆替

の市民の後とも独しからんとするがなり目下吹奏堵験に急いでゐるがなり目下吹奏堵験に急いでゐるが

が活線たる金融線が

實現遅延の

金普間滿電バス

部落民は實現を要望

警察廳舍改築に

市民の献金

熊岳城市民の熱誠

故佐藤曹長の

葬儀盛大に執行

卅一日撫順守備隊で

年間帷幄 された灰皿 軍司令部の移轉して行つた後 の室に

實に八十四人に上寸各室と

図の金なりともと市民寝らず血の 無まる献金一千數百圓に塗し市民 の熟感に成る歌舎官舎は遊成を続 も魔主の特別少年勝岳城の養塗上いてゐるが様で完備した時は敷地 温棒 すべきに帰るとな

リやがでは地方事務所と共に本籍し秋に立至ったのでおりかれる市民の緊他」

藤東司令官以下幕僚の立ち去つ 家天野経書も今日はヤツと遺情ない街頭風歌もまた見られない、 して見えない

通過を陸端でるあの続ものようない、軍司

文書を内各庁の農業技術練習合金州農業技術講習(金州)令州

会州品評合祭る【金子】

窓の温泉地熊活城な活かすべき市場である、引縦き全帯的位置上天 力ではさても及ばないこさです は困りものですきな事業ですから一人や二人の 自動車 にも対りませんが、何れにもても大 リンは路膝もて りょは路膝もて し、またそう短精製等業を興すか或は他に新な 展彰拝賀式 同十時十分より 関書館長の開春の群に次いで童話 一次はり民致署に於て一般の参賀 ひいれ備だけに定刻二時間も前か さいり、政策は、民致署長に三日午前九 された、小年少女の多大の興味な を しもの
しい
ことの
こともの
は要して一般の参賀
ひいれ
はだけに定刻
二時間も前か
でまり民致署長に三日午前九
こともの
は要して
に於て
上も鈴なりの有様であった。大佐
こともの
は要して
に対する
に対す 安奉線南部の匪賊

乗れないやうで

職炭機の視察を終へ即日新京に向いなほ氏は三十一日朝機職に赴き機

る計画であると云ふ

朦朧自動車

奉天の取締

住衣 実 目駒町 三浦屋 電新三二六四五番 電新三二六四五番

田品書間

の貴き犠牲が横につて

奉天の靜かな横顔

会州明治節の融質方法は左の 金州明治節参賀式【金州】 金州

追はれて海へ進出

戎克その他を徴發

古着 共他卿不用品は他店より 大着 共他卿不用品は他店より 大着 前 報 参上 日藤町 たじまや 電六六〇一番

五 情人別、 大連市護海 (関節、 本) 水 (大連市護海) で、 東 (で) 大連市護海 (関節、 海、 は で) り (で) が (で

黄金 畑川に遊金のり極低町この 電話 と 金 配 記 こ

高粱からも 石油がとれやう ガソリンの自給自足

しい劇銃の主を失つて空しくうつ ぬい

東接建物はガランと

させた軍司令官権機の室に医歴が立した個日から中日は戦へらぬわかるな姿をさらしてゐる、韓空に掛めた数を

も何の開々に急に目

大谷光瑞氏語る

海岸繁留中の表見その他を特色物

旅順放送

四世んそくたんせき民業に市内配達定債金六個大連市監部通三十三番地大連市監部通三十三番地大連市監部通三十三番地大連市監部通三十三番地

渾水池を狙ふ

五二六千六百烷、動力二千八百馬力と五二六条数を売すに至り億々二十年間の取き大飛動を停してあるが 無質社を含化し一調資本金八十五 中の島、場市、観光浦、南市、代 中の島、場市、観光浦、南市、代 東、西脚、定州、野山等の各地に 電燈及び電力を供給し電燈数六萬

第)を監するに過ぎなかった小規 中六月電本金働か六萬国で候膳さ 中六月電本金働か六萬国で候膳さ 中六月電本金働か六萬国で候膳さ 中六月電本金働か六萬国で候膳さ 中六月電本金働か六萬国で候膳さ 新築落成式 『奉天』在郷軍人會家天分會では 「関すのは、聯合分會長挨拶、奉 天支郡長の順示、座長推薦、決 「関すのは、聯合分會長挨拶、奉 天支郡長の順示、座長推薦、決 校論堂に於て 奉天常 **郷軍總會**

御職合分會総會に発表す午後三時から終天西分會の総會な際能する

旅順火神廟改修 三千五百圓で近く着手

本格島町一古川韓吉氏方では五男 市の控訴公判第一回の事實審理 市の控訴公判第一回の事實審理 表記者二十二月出生

十二年 大連牛乳株式育社館四五三七番

下に静楽鏡島町天局宮除城聯字とし一部な一般独前に建立され満幡政殿直接音曲の天局宮総持城場に一五百里上安前にある火戦解は約六十年一総費は三千五百里大場所の「後頭」が脱市勝江町通り米湖脈」を現て吹修方が 以下本原の他を支出して来たので 一般ないに使って感像の の配目な一新することが を支出 が企業をより一部を支出 がの形に使って感像の の配目な一新することが で本原の一動ともなり で本原の他を対した。 でながらなり でながらなり でながらなり でながらなり でながらなり

田一维(三

東出が設定 要脚集開発行品から

皇軍を知るに及び

なされたこの奉仕

が、難る所に見受けら

禁主任三十日長春方間よ 特課長 間上 長課宴會議出席の貸め三

校正門前

西達九香地 はごここれに ス運貨物を

季節もの新柄 多 敦 着 荷 旅順近江屋吳服店

東邊道討匪戰從軍記

だにも無く、平和の

ことな記者は心から整 の夜は双鯱子に徹底し の夜は双鯱子に徹底し

沿線往來

林 農園 山 羊 牧 場大連市山吹町1〇六大連市山吹町1〇六

西公園町六九 電話八二〇三

四ツ目印にんにく前荷酒をにんにく前荷酒を開始に召せ萬宗撃滅、健胥祭職者、大連市山縣漁大連和山縣漁大連和山縣漁大連市山縣漁大連市山縣漁大連市山縣漁大連市山縣漁大連市山縣漁大連市山縣漁 大連市山縣連五五八第二山縣ビルン大連市山縣連五五八第二山縣ビルン、金製品高

山羊の乳 者に何よりの榮養料 職場時

便利アルコールコンロー 経済プタバコンロー 進物強機の返禮品 大好評

世帶道具の夏物全部が揃ひました

ーツト 金澤屋 涌 商五〇八章

E

洋服附屬品並和類一式

七野

電話 金融資資は何ミ云つても 製出す正直洋行電話五五五七番 が際にすぐ間に合せます。 一覧り小口金融利子安く のでは、一覧に合せます。 一覧のでは、一覧に合せます。 一覧のでは、一覧のでは、一覧のでは、 のでは、一覧のでは、 のでは、 のでは

强力治淋新藥

大 慢性 諸将のハリ 電場 (県価請泉牌) 油田 編翰

山田行正(電三七八九巻)

乗り二十球 徳國五拾銭 東の一十球 徳國五拾銭 東の一十球 徳國五拾銭

★春 性器炎ハリ
大連市二葉町六○

油斷大敵倒れか先きに

る年き報酬早務度松告財朝部

金融 小切手割引郵便好金通機 小切手割引郵便好金通機 小切手割引郵便好金通機 不可能 化二三束 隐藏者

大連市振磐町ニニー 大連市振磐町ニニー

種類の肝

山洋

冬物類揃ひました 御祝儀用紋付類 いろり ニング バコート 海渡衣服

四店

カフエーヨシの水町コント

公三八二番

★村屋菓子 四六舗

旅順商店 シュークリーム

進物用折詰調製

五三拾銭場

夏入 純金、白金夏蜜五九一八

ミシ

古本

別製ベビーシュークリーム

満日案内

包紙 之級各種

戦の

暴狀ぶ

北九州郷軍の

意氣に感激

選を同騒内の部下に支給して し平穏に帰ったが最近

窮迫した匪賊が

刈取を警備

吉敦沿線の珍情景

北九州郷軍大會から歸りて

于協和會代表語る

日

した子經滅氏は三十日安永縣で降 郷軍人大會に協和會な代表し出席 のである。

中には之に加機せんとする者政府として暴致を施すに至りの部下を報ひ車駅を養行し宛

取調中である 自警團の

で、あったが今回全部は過せしめ を共に無格線の山城子及び家天神 と共に無格線の山城子及び家天神 の新館農民を展覧。地へ随遠せしめ の新館農民を展覧。地へ随遠せしめ

は他に移動保護のためなり お手 匪賊を撃退

中最早不安一様の

連

0

6

| 東畿甲の州内各階級署の間目三十 警官歸任 大任を果して につき教死中である

で目下管局に放て之が禁棄でめて鈍酸された

着した遊撃隊で果し師奉

鑛

遊擊隊歸奉

を届け

李丁の惡戯か

職事と相呼順せんとして居る丁組 に到着せる様文書については極々 に到着せる様文書については極々 に到着せる様文書については極々 の反

東な考慮して等小屋の処き學校なかため朝鮮民食では學賞の教育書

圍並

吉長沿線耕地は

改善が必要

拓務省中村技師語る

勢から見た沿道一帯の耕

、四級以上の登場 より各七名の選手を より各七名の選手を とりを七名の選手を とりを七名の選手を

官動靜

【書林】投砂谷融配原中村島投助 一谷に吉林な中心とする一般模類 画客のため二十八日午前八時三十 九分岩板に鎖鬢したが、途中断近 大学に大きない。



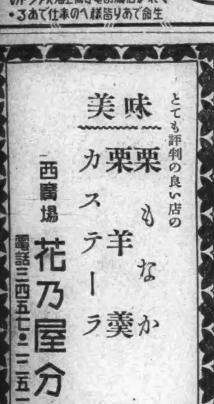


大連市近江町

電話七三六六

番

(連支店





刷 般 オフ 活版• ヂンク セツ 石版





零

軍需 品品 品品

 隨入 意院 醫學博士 森本辨 電話五三七

耳鼻咽喉科 大連市大山通三越降り ピヨ 豆 之 助



1 1

計

下頭像方廊で之が野菜につき様々を動する反應と日本に壁する不穏な と目 思想の接起であるに根壁なしと目 常見して居る者がからる

田副物便或三鼎

空中から資源調査

滿蒙調査に重大役割

全貌が知れる、韓泊湖にし

作文を認めてある

部で全浦の 日本議院を力設したこころ非から貫測しやうさする努力の一 日本議院を力設したこころ非ので全浦の

某航空會社飛行士の經驗談

縣公署で佈告

踏査時代は過ぎて

内外に知られた電性端に割り一行は大會終了後日本八龍の一つ

前十一時五十分發列車で撫殿官民一際起點に除つた了したので右艘接腕は三十一日午一多数の多大なる戲画を

齊克鐵路奪回の

匪賊一千を撃退

救國軍内情を

宍戶兩枝除奮戰

尺滿感情の 不埓な郵便 支那留學生の手紙

門吉林衛城と記せるもの職々銀行 一般を添し捜査中である。 最近在東京中華留日基督教管卓會 全てたのではないかとも自から登送する手織の表記に中華民 為め安東日浦軍警の駅を辿から登送する手織の表記に中華民 から変して我が軍警の駅を辿れるという。 顧維鈞、張學良 共同經營の農 日浦車では全市に取り起

X

ERCERIZED

勢力擴大策

第五軍高文斌外十二名

大小頭目糾合

逆産處分で没收

拉

圓

歸りかけ 途中から引返す た鮮農

日

日く不逞鮮人猖獗し 新定價金三円

ナニワホテルの特色 一、堂料の低廉なこと 一、堂料の低廉なこと

三圓二〇錢 二面四〇銭 二圓八〇(ベス使所付)四 個(ベス使所付)四 個

0 Emeningenmannamin

陸

酒

•・躍活の屋質・・ **衛に変受けます** ・ 本語品(衣服 ・ ・ 本語の(表 ・ 本語の(a 本語) 本語) 本語 本語 本語

0

通 切 有 効

强腦精力

Ŧ

院醫科歯森藤 借力の五三話電

秋のお化粧料は 他歐米各國有名化粧品會社 約店 100

總代理店

建四三五三基

LIPTONS

司育同变

ブトン紅茶の難は

高の時、はては夕べ浴**後** 瀬務に運動に疲勞を覺ゆ 朝の軽みき御食事に晝の

籐椅子に凭れてくつろぐ の價ひ トン紅茶の薫は正に千金

の時

既関リプトン株式會社 オリエンタル貿易商會

動か三度もこの寺に納め、然もこりを介ましたが、不敷に思ったの が寺の作職――不思議な権もある。 のだ、この三四戦の間に同じ版 はのだ、この三四戦の間に同じ版 が寺の作職――不思議な権もある。 のだ、この三四戦の間に同じ版 は、

輸の美しい花れ散らして丁った。 を強りアラーへ解で、こと窓にめた。 大きの響はとり憑かれましたか

ボアス教授を触かせた

とても特別でも なったがけた。 なったがける生物に なったがけた。 なったがけた。 なったがけた。 なったがけた。 ながったがけた。 ながったがけた。 ながったがけた。 ながったがけた。 ながったがけた。 ながったがけた。 ながったがけた。

の親心からされば

適用出來る療病上の新學説胃腸病その他の慢性衰弱病にも

抗

結核は癒り易い

をうまく利用すれば

程は三年献に続きカタルの診院 は観響在は健治・そして貼る、階かっけましたが之は、雅を心臓で 成しました。それに死は、智順もなっとする整節の だって食気がたく、便様に憐まされてるます。 自がで輕快した經驗 を動してくい結核が

おり、共後に毎日規則正しい便通がある様に、一般には、一般では毎日規則正しい便通がある様に

自然療師,力を促進 なより健康者にも必要な質量な飲 なより健康者にも必要な質量な飲

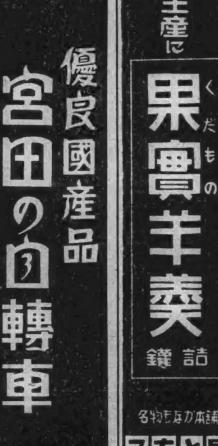


では対人して、 お申込みに では東京芝公園大門際、 集芸部院に (審要二 てのました。すると、其後に 軟性下疳病



B 艮 場 院醫 八七五八話電·話播盤常連大





チタニウムを主剤に特殊の成分を配合せる

三木元子女史創製



八本月途療に肺病ログマク神難痛(議所等質店大連市聖徳)大黒屋楽店、外川外用諸病傷の卓効薬も方は是非一度体解をお飲むですいでは、







用して真先に目に見えるがしに食るる人々が、「能動わかしと」を服

「縦形わかもと」に含まれても は、ボアスといふでが、「縦形的の骨臓無悪の大家が 食欲、素と名をつけれ程ショインシュリン」なる成分が「縦形的の骨臓無悪の大家が 果、食料が進んで





も必ず適い 無鉛無害で

分子が微細いから極緻密と何方のお肌膚に その鮮かなお化粧が驚く程に永保する 質に生彩ある仕上りとなって 其附看は無類 ワーワ白粉 伸びは三倍





○ミツワ石酸本舗 丸見屋 商店

サーワ白粉と化粧品

菊薫る ×

地流光は離極物をも航空郵便としたの間に航空郵便の連絡を開始したの間に航空郵便の連絡を開始した。

頭の通り記念スタン

野に歌歌を記地機器のなる佐世 に刺戦され市 教人犯引取に 教人犯引取に

円惠比須町西後書でのダンスホール設置

法務官來旅

検番の サンス

二日着工本月中に竣工

明日から満洲の空に

旅客貨物の輸送始る

多くの期待と嘱望を荷ふて

満洲航空會社の首

新京開航空路を利用し航空郵便の 三、使用期間 十一月三日より同趣作品では來る三日より郷砂を除 二、使用期間 十一月三日より同趣作品を確定を表する。 一、使用期間 十一月三日より同趣作品を表する。

艦艇を離すべく通知することとなば、は常日大連港入港中の日本艦艇に

様だ、 の答線長速もニコ 人間で接票場 展長、野田工大學長を初め関東欧

日滿航空郵便

記念スタン

三日から五日迄使用

H

殺到で

郷めき合つたが、脈市部と

生物者 れ、物々しい中にも一種のクスグ に現はれ港き一票を投じた、これにはひ し歌々として御祭の交換が監出さ 市極視型を転後として分會接緊接を新聞 舊市街本會遍演特の情形はいづれ に変を現はし、午後正五時二分前

棄權者少く好成績

村生由太郎氏所有

本機械第一線業丸(五十二回標長

金井地方課長語る

退廳どきに賑った

旅順の投票場風景

棄權は一割七分强

日本晴れの投票日

徹宵して警戒の『當落の運命』

舊市街本會場

ける開票 市議戦大團圓 五十分自動車で運ばれ第二分會場際し資銀分會長の手により同五時

高等安學校に避ばれ更良、整然電影後のいないなけるの「緊緊を待つ事とな「密家の迷」を秘めた投票報は第一分會場、第二分會場として本會場たる難生 者二千六百九十二名丁度、一割七分録である、虾くて立候神者四十一名に黙し全市有権者一萬五千二百二十六名に黙し按票者は一萬二千五百三十四名で家権がしい潜き一票の 行使は午後 五時を期して各會場とも 一際に締婚られた、

投票箱に向ひ

横から見た

票場

刀劍交換會

できるわり氏のこのでは、 動た整へ宮が開基に向った、 よの のこともわり氏のこのでは、 よの ではれば、 はいまでは、 のこともわり氏のこのでは、 はいまではれば、 はいまではれば、 はいまではれば、 はいまではれば、 はいまではれば、 はいまではれば、 はいまでは、 はいまでは、

健康増進は・・・まづ胃腸から

御方へお知らせ

品質本位配達迅速

近江町

石

村商

声店

蘇炳文を訪問

無料治療開始

白米なら専門

0

胃腸病に惱む

【チチハル三十」日發】六月下旬

金大夜間バ

なく短期間において全て不思慮になりどんな慢性衝突な骨脂類でも決して御心配

し食が増進し際に側通を良く

是

連せ

佛

合掌する有權者

◇……岡内半藏氏語る

兵分隊を誘問打合を行ふ處があつ

密輸を種の

しむべき意味である

た電響なが展現れ地速に早時活躍には、滑なる活力を信加し比較核のよいは、滑なる活力を信加し比較核のよい

環形像になり各機能の国

度

內店貨百連 日丁三町速源 ※四五六四話電

自稱大學講師

陸海軍志願

吊

各種傳道物品與場合

入營者祈念式

取せんとした事務の手動料を許しているとした事務というである。 非 数 犯 送らる

たて開票の「時」を待つてゐる か四十一名の立義補者に投げか れて開票の「時」を待つてゐる かし下五名により 徹を観覧に選り れて開票の「時」を待つてゐる

が食場入口まで変の背中におん。 ・ は、 、 は、 ・ は、 、 は、

と節つてゐた

蘇と政治的交渉

多田顧問新京出

補解決のため

投票に熱がある

南二千五百三十四名で整本 南九十二名であり丁度一割七分巡 に離るがこれを餐會場別にすると では、これを経會場別にすると

會場の選舉立會人指非一

があり、 この会場に沙河口御承知の通りこの会場に沙河口御承知の通りこの合場に沙河口御承知のあるので服装はできるのもあっただらうが戦団があい事さて頗るだらのもあった。 愉快に感じた

岩井勘六氏語る 船員を押込めて

一ケストラ演奏。コロンピアレコ リホテル、舞動場にてホテル、オ リホテル、舞動場にてホテル、オ

養護施設座談會

加内を掠奪

石城島附近に海販

學校護護常計委員出席のうへ 大連市松成小學校で大連市各外 大連市松成小學校で大連市各外 學校給食並に築養に関する 五株 大連案業株式會社 大連案業株式會社 大連案業株式會社

(ハ)共の他 第二十六回決算報告第二十六回決算報告

小陸無候が近衛 て武装を信する小壁が脱に襲ばれ甲三十日午後七 総代談交同じく積壊器附近におい概にある十月十五日流彩

れてゐるう

場日

製加したが、開催されて経歴版の一味を変

務を帯びる要

たところ失睡に 人法 と共に大連水上等にしたので催心な 巡れ三十一日 はいきまいてもると示しますとことが がせないが健康要するにおいては がせないが健康要するにおいては はいきまいてるる

わる歌展らしい家のなかに選入 各 昭和七年十月

勝山洋行

愛藏品

賣

大連 市 月 會議所 樓 (電話四五四六番)

四三 日日

同

五期決算報告 ・ 本に要素 ・ 本に要素 ・ 本に要素 ・ では、これを表 ・ では、これをま ・ では、 ・ では、

預貯貨

なす 本小さい私共に御同情下さいまして倍舊の御愛用を偏に御願い致した可とて更生し來る十一月三日より御用命に應ずることになりました何毎々御引立を蒙つて居ましたサクラタクシーは此の度組織を改めます。

美 員 | 同

並銷街本町通

%四·九九庋粹純

一價正

足 民政署から監視官として北角艦。 九名がそれた、所定の部署につき、 佐名がそれた、所定の部署につき、 が一提票が費場たる監盤小展校は 民

押寄せる有權者

第一投票分會場の成績

第二會場 場場

六一二二〇八 一二二八二 一二八八二 〇八二 〇八二

八十八歲)

日投票場より

第二會場三千九百二

四名、第一會場六千二百一

左の如く推薦されると同時に市役のところがくその決定を見、一日を記は民政署において構真経館中

れば蓋あけて後のお懸み。明るくなるか、暗くなるか、

韓後樂、

期の威胁も限地能となった今日

けふ市役所で

まれて

の混雑振りだ、耐し候備への秘める一覧版上々の日本時、有権者もドッと押しかけて多に暗れ渡り北西の監軽やかに銀路艦の蒸業を繋がし の有権者の描き出す明暗の二色・多端な市政に難し戦る意義深いの反映日である、四十一名の候補者をめぐつて一萬五千有餘いよく大振泉の日は來た、「日は近ぐる二旬の感戦者開か楊決策する「市民總蔵」 ー前中に半數投票

午前七時に十五六名詰めかけた 投票本會場の成績

寸毫の隊

が課長以下更貴三

で そのもの、 掘く事務を開始した。 されて提票場へ消える。それよって そのもの、 掘く事務を開始した。 されて提票場へ消える。それよって、 一角機はないだらうな、 悪用紙を貫つてイの一番に落場町 他人様をへ僕を推薦を見れて 悪解・ 狐響書、名源駐艦と存掘者 五十分を絶た九時五十分には等は、 悪解・狐響書、名源駐艦と存掘者 五十分を絶た九時五十分には等は、 一直に表現の一面に表現を開始した。 されて提票場へ消える。それよりとと思います。

正午迄の投票數

光陣を 爭ひ

この風場の一は投票済みとなった

定刻に既に百名

第二投票分會場成績

は分會長駐田駐御器長以下更量:

「大名が午前七時ごろ職つけそれ の内焼を貼めこれに分會長駐田駐御器長以下更量:

「たく所定の保につき事務開始の八 の内焼を貼めこれに下 たっ名の者が光雲を襲つて押 り込み受励、延報書、名の は、六名の者が光雲を襲つて押 の手順ももとから氣にド の手順ももとから氣にド の手順ももとから氣にド の手順もとから氣にド の手順もとから氣にド の手順もとから氣にド の手順もととから氣にド の手順もととから氣にド

■栗を投 すれげ織いで画「飯を彫ななど 七名の官選議員

發表

な押すなで詰めかける。

酒れる」原り無調点しい館

長春總領事 館改稱告示

と吹称せる旨本日外存名告が 事館を「新星帝國總職事館」

(京業 郭司徳(五五)

夕風

高

ターにて用器の相違

あり

但しE號は電紙モー

ムビアにして此優秀品 ブルスプリング、コロ ボツクス、瑞典製スプ

リングを使用したるダ

大第九號の優良サンド

備へ音質明朗

の長大なるブラノ、リ

プレツタス型ホーンを

重厚な厳容、九十六时

扉の内側に美麗なるグ 福色マホガニー 堅材前

リルをはめ莊重にして

田軍太郎氏(共同印刷株式會

▲小山慶治氏(同社率天支店長) 同上 「南上 「東山市松氏(大阪商船長崎代理) 「東土」同上 ▲松井真吾氏(热島組奉事)同上 ▲松井真吾氏(热島組奉事)同上

ことが、溢れてあた。、味めてあた。 大佐が、笑つて、ポケットか つかみ出して、テーブルの上へ置きた、

力を注ぐ

あるとなし、理事會對策を第一とし時、盟に臨むに決して居る、職して理は日本として職じて許すを得す、報告者の職談は訓査((が理事者の決議により任義された得り日本を認覧すべきとの職員しあるので殊額談談であるが、小園館の懲職論者中には政法が出して本の問に政治的妥協點を見出すべく報告書の審議の知きお別との問に政治の対象を表表を表示し、理事者に異なるとなし、理事者に異なるとなり、任事者を表示して、理事者に異なるとなり、任事者の表表の知されて、任事者の表表の知されて、任事者の表表の知されて、任事者の知识に対 事會における我障容は大徳左の如くでその緊密 さとよりするも理事會中心主義で歌遠でべきです理事會を十四日より開き、三日間他で趣會にり理事會を十四日より開き、三日間他で趣會に 恋弦な處置を避けて理事者の際合し 火燃料態度で大國側は日本の主

岡南大使は英のサイモン、体のエリオ南氏さの側面的抗衝に借り佐藤駐日大計・河底側が行はれる際は松岡全権が理事代理として總括論は長岡駐佛大使が行ふ

謝專使一

神戸發大連へ

日本は十四日連事會聯會器には間に合は下部と問助的によっては多少選延するかも知れね、即 事會議長の極限により理事會聯會日を一選問廷ばし十一月廿一日とするものと信ごらる アと答へたが、Wan Prには川本の意 ■日に驚いても事務局側の準備の都合上結局理 い改を經、日本政府に愈見菩提出時期を贈會し

の選舉日和に投票は、対成続である 旅順市の

官選市議 る 本はじめ官民多級の職送売に一路、でした」 「他の一て韓國の途に執いた、でした」でしてなるか知りませる。
「神戸を頼軍人、管年賦一千名
「でした。たゞ、成功してなるか知りませる
「ないか官民多級の職送売に一路、人といふ不正行命の成功だったので
「ないのです。しかも
「ないのです。しかも
「ないのです。しかも
「ないのです。しかも
「ないのです。しかも
「ないのです。しかも
「ないのです。しかも
「ないのです。しかも
「ないのです。しかも
「ないのではないのです。しかも
「ないのではないのです。しかも
「ないのではないのです。しかも
「ないのではないのです。しかも
「ないのではないのです。しかも
「ないのではないのです。」
「ないのではないのです。しかも
「ないのではないのです。」
「ないのではないのです。」
「ないのではないのです。」
「ないのではないのです。」
「ないのではないのです。」
「ないのです。」
「ないのでする。」
「ないのです。」
「ないのでする。」
「

▲提邦勇氏(正降銀行支配人)同日朝入藩はいかる丸にて着連日朝入藩はいかる丸にて着連

では、電師まだちゃったのうし

部郷長郷歌ぶ氏、徐徹武官長城海衛を開観に起く満洲國武館軍政 **井泰橋以下娶人多飯が蘇大に息送職多謀長陸軍關院者及び浦洲岡縣** けさ新京を出發

要のみです。戦い諸洲に、その男 でなし、戦むのは、恐の恰島の でなし、戦むのは、恐の恰島の く、郷草な天井へ吹き上げて 下手な師で、液花能を見つた。 道木が、駐手の躍かして



直木三十五作



▲領田忠維氏(闖入組合理事)同 氏(全種部書記官)

▲溝上聚氏(大阪外訴教授)同上長、同上

治氏(佐世保備守所法務

郎比(日本橋花大利)

氏(呼海縣派山洲級技

第二三五

金三百六十四

が正 動機銀代理として見返った 一日標樹水子養物学機にて郷途に が正動線銀代理として見返った が正動線銀代理として見返った

出淵大使離滿

張景惠氏一行

「出版てかります。持つて奏り

コンソール型では大き

過ぎる、テーブル型で

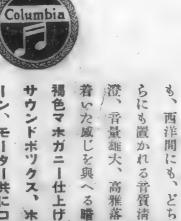
方には最適な日本間に

は音が不満だと思召す

崟

弊社特約店にて

是非最寄りの信用ある



を、野太閤が再現し四百餘州に活 と、野太閤が再現し四百餘州に活

清洲國の北平運都設なンざア 嘘

では、皆、財政などない。その では、、皆、財政などない。その が、質びよる人だから、そり では、、皆、財政をからなあ。緩 がは、皆、財政をからなあ。緩

でう云って、煙事をつけて

「桐苦勢だなっまづくてもい」か

サウンドボツクス、木 着いた威じを與へる暗 澄、音量雄大、高雅落 らにも置かれる音質清



木明から會場

詰かけた有權

木村拓務參與官

旅順の投票成績良好

の 立動板は 選索者 氏が七時半に理ばれて投票する。 ・ の 古動物溶薬の日 多な神すと候館の一人田中嶽三郎

市議選舉結果速報

司道の数きを受けるだけです」。「はつ」

質を下げると、大佐が

市内十四ケ所に連報板設置

結果を刻々に報道し市民諸氏の便宜を圖るて左の市内十四ヶ所に速報板を設け開票の本社は二日の大連市會議員選舉開票に當つ

ーン、モーター共にコ 褐色マホガニー仕上げ ロムビアが誇る優秀品







赤ちやり

ん青ちや

ん

名珠數

つなぎ

網打盡に賭場檢與

旅順も凱旋

(可認物便主理三郎)

主備隊と完全なる連絡をなず

日

張殿九、 おが軍を攻撃 樸炳珊の 齊に レ來る

直接交渉を目前に控へてのこの森炳文の全般に亙る積極的武力行動兵力で理影より青京総裁定師が成婚に配け返転を脱絶れるに対し国の積極的武力行動とで、一力機が相互にれがためチチハル部構の我軍手部と底に無角交の後親と間傍つて五千のた孫炳文は態度を露骨にし東支鐵道四部線全線報軍の金勢力をチチに孫炳文は態度を露骨にし東支鐵道四部線全線報軍の金勢力をチチスペルピン三十二日費」ソウェート観マチェフスカヤで、牧軍と直接交渉を目前に控へ 順る注目さる

使用人死隊三名、高線社院四名下出一名、兵十三名その他

殉職社員の

会った言田と、野野女は依然植物でにあって全草を指揮し無沼度順を呼ばれる。 では配く深との連絡を主き戦に配ってゐる、暴州女は依然植物でにあって全草を指揮し無沼度順を呼ばれて高江倒落には浦底な家一帆もなきまでに歌鳴され艦駅は東河線標に配甲して一部を歌歌したいて影響してゐるが観光器の都際三千は四キロの前方に消り寄拉青幕を影响すべく連級師に破職したいて影響して高るが観光器の都際三千は四キロの前方に消り寄拉青幕を影响すべく連級師に破職したいで影響して、 泰安で滿鐵社員殉職

B送に数名の機能者を出した終終であると は表る二十日午後六時から興暖の包閣攻撃を受け縣舎は破職により破壊せられ清鏡逐激代に記されまる二十日午後六時から興暖の包閣攻撃を受け縣舎は破職により破壊せられ清鏡逐激代に記されば、 **拟軍奮戰**

職大な郷倫を得ふこととなった 使二時から線和會館で都郷として で來達するが、銀道部では五日午 で本達するが、銀道部では五日午

歌時間)および曜日は左の如くでなほ連絡列車の沸騰乗業時間(東

務列車の浦州教育時間(東

▲養車 月水金日、八時三〇分 ・ 八市三〇分 ・ 大小金土、一九時八分 ・ 大小金土、一九時八分

三越

前九時代か

ワ、源の通路列車を去る十

てゐたザパイカ

軍司令部ミ交

兵匪四千に包圍された 泰安の守備隊 八日間 【ハルビン特集―日襲」滿洲里での他の庭部民類出に騙する交渉委の他の庭部民類出に騙する交渉委の他の庭部民類出に騙する交渉委の他の庭部民類出に騙する交渉委の他の庭部民類出に騙する交渉委の他の庭部民類出に騙する交渉委の他の庭部民類出に騙する交渉委の他の庭部民類出に騙する交渉委の他の庭部民類出に騙する交渉委の他の庭部民類は有三氏の外宮崎大 渉委員打合せ

五日頃になる害 内地大連門の大阪海船定期船 部郵便物搭載

松同様無他能を接続して飲食すべんれ、うちるれ、うすりいれびんれ、うちるれ、うすりいれ 五盤とも脳便物が



重任を果し歸る で果し歸る 大連各署派遣警官隊

明を聞かべて 中横矢夏好 行中使信の投身自殺を聞って同行艦が和歌山脈能野都

附西の風(晴)後景 十月月

か利利ない

産名津天 値段は安~ 割引大賣出 は 一周年記念 7日まで - 粒撰 18 錢 御徳用 13 錢 正味 450 次人1.63錢



水久駐屯を 希望し日滿交 七十一ケ村から集り

上て吳服祭 が各部隊に駆合して東邊道一常の兵 各村長大會を通化で十月廿七で 通化な中心として東邊道一常の兵 と村長大會を通化で十月廿七 と 1 大谷郎の 1 大台郎 2 大谷郎の 1 大谷の 工作はが批響し段が批響し段が出事し段が

際は、新住院大支店長小山原行氏が建設に新住院大支店長小山原行氏が経済である。 産中であったがこの程を近ことたので、「特天南五條道に工場散 共同印刷進出

の身能を調査中である と校脈をたよりにこの寄特な兄と校脈をたよりにこの寄特な兄

犯人受取りに 豆腐屋殺しの し犯人領護三等

機器遇到河黎市建大 借九六八七話書

ル定例ダンス會 年 月 一日 (水曜日) 午後九時 場 念舞踏會 告 7

亦 テ ル

○【東京一日費】卅一日午後三時頃と『墓中衛側兵金保を訪れた双郷女學」 報國號に献金 兄弟が貯金を 政権職地下等性領地において質 を各地方に普及せしむべ 全ゆる

小羅 倉紗

御用命 五五十十五十日後は後後はよりりりりり 品

帝展エハガキ 参りま 高級油輪輪之具と 厚 頭痛・ノーシン 液速町二 司 山温 本盟 分

聖行

けぶから新京 ではと」も新京行

目師一般民衆の自

奉天各校で

體育獎勵

東邊道村長大會開催

海で調査團 愛撃の陰謀

息子を訪ねて 佐田保に護送軍法会議に附す歴紀人須急三季兵費を取訓べ

ミノルヤが

天津燒甘栗

を始め

堂

L

た

警戒嚴重のため未遂

一十一日工部局巡査により二十名の人権関が

ため(二)【大喜代の不在中百個な熊本縣天革都洲本川、吉田喜代製

一行に危害を加ふ計畫を進めてゐたものであるが肥限は何者かの使嗾を受け上游事性調査のため來潛し投ぜられたものと同一烈の點より更に驚くべき陰謀

給仕投身自殺

の手間に動きれりツトン脈

出来なかったものであると

に注稿を記し 連続され取録 に注稿を記し取録

本の者都合に依り無極数統領本人 連 大 連 支 店 大 連 支 店 大 連 支 店

器三七八三章

店

トラッタンハ

ボンフィ

通り締織に切れます個格十八段。押切るのです総にも従にも説みをのせ鋼鏝線のついた上の機で

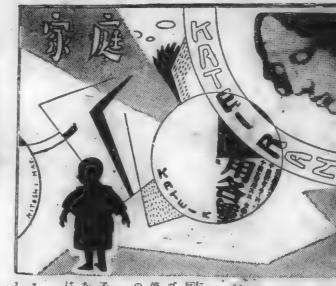
はれてまるりま

林檎切り郷線製ニッケル線所消其五種を選び出して見ました

卵切り ニューム

の人、脈が不足の人といったやう

日



サージして、レモンクリームを使 サージして、レモンクリームを使 一代子さんの話 サージして、レモンクリームを使 一代子さんの話 で変が変し継げかけましたら で表を促します 【東京美容院徳水

電音でせらもくれずまで揃って歌の隅にタオルかけに用ひても

輕便で能率的な

お臺所道具五つ

お氣に召せばごうぞ

がす、そのため別がは上着や、ズボートのため別がは上着で、そのため別がは上着で、ズボートのはことでは、そのため別がは上着や、ズボートのため別がは上着や、ズボートのため別がは上着や、ズボートのため別がは上着や、ズボートのため別がは上着や、ズボートのため別がは上着や、ズボートのため別がは上着や、ズボートのため別がは上着や、ズボートのため別がは上着や、ズボートのため別がは上着や、ズボートのため別がは、大きになっても、

上級生になるに他でて



失職のうた

て姓しく

0

まき音夫のあれば、 夫が慰めむかな ルンペンの群の一人に加はりわ砂の紅きなし に小さくなって見しる。 しんが にいさくなって見しないといれば大郎 射器で内容だけ吸出でが法と機能 ものではありません、治療域は注

みてわれざ母は悲

をがはより、パンへ強るのに思 いですが、野礁労働のレモン ものですが、野礁労働のレモン ものですが、野礁労働のレモン ものですが、野礁労働のレモン ものですが、野礁労働のレモン 古新聞紙を

パタにレモン

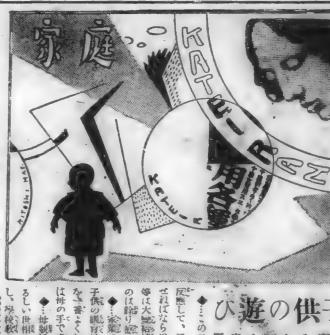
間 「八歳の女子ですが線代年」 くびから一寸位のところに種の くびから一寸位のところに種の ですなグリグリが出来ました。 グリノ 手の甲に押せば動く ~が出來た 腱の過勞によるカシグ 二つの治療法 題がとなって、他と

たきつけとし

スシゴーオリテエキマハシゴーオリテエキマ

家庭重寶記

用したがかでは用です。それは、くづやにやるより上手に動版の安いには新原紙の安いに



このやうに更転して行く世様は、紀ち無心な子供の機能性に

して子供の機能性に應用

森ちません、狭い変所には場所 かってゐるからふきんがすべり なさんかけ、般歌を吸及ニー

に関しては無十次に さらすれば は無十巻となりがちです は無十巻となりがちです

るのです。しかもこれは下鰻感に はハンカチを必ず忘れてる はハンカチを必ず忘れてる 、學校では 時代となり、理信も子供の世界に正にットを持つて飛びまはつてぬましたが 其のピストルに魅って、今頃は正にギをてんでに持つて遊んであたそうです



味だけが細胞に残った

す(大速日本橋小 手を拭かないで

服装檢査すると

半分以上ハンカチを

防ぐ爲にも是非持たせなさい

菌を手につける

ームや其他の傳染病を

(2)

AL REAL OFFICE AND A STATE OF THE PARTY. アセモ、 の豫防ご治療に お肌を保護する 12 ホーサン五十倍入 冗 一、個に付 の品質 タベレ 金十五錢心 3 の 6 「病は口 經濟且つ最も理想のサポールドで より入 炊事器具、 MANUFACTURED 江東を知び 3 BY 食器類は何時も清淨にしませう 金十二錢也 お洗濯は 萬玉の 優良品は 一個に付かる十四段も 豆油製石鹸に 定評ある ダツク石筬 お洗ひ専川品 讃えられま 絹物類の 限ります

九

【金州】金州一部副店園の総線道 に清耀興概の旅客を吸収さると か バス悪戦はその後患なとして覚理、 で道線を記せている。 の悪びに至らす指角の期待し全た 野感覚理を必要とすべく多糖に上 く整に使れば常行機たる金融機造 に清耀興機の旅客を吸収さると飛行 の悪びに至らず指角の期待し全た 野感覚理を必要とすべく多糖に上 く感に使れば常行機たる金融機造 らんことを繋ぶしてるる とこれが覚現の強かな

市民の献金

熊岳城市民の熱誠

総でた市民は毛能隊 百五十國と身分に機態して動かった 不感じ球に駆き級 の不足の総領を観出せんと専出で支索駆し球に駆き級 の不足の総領を観出せんと専出で支索服販の撤営裁判 此の不認無經濟飛続はざる現径此

百五十四と身分に相感して強か一

實現遲延の

金普間満電バス

部落民は實現を要望

武藤東市会官以下帯像の立ち去つとででの通過を陸端するあの場もの会官の通過を陸端するあの場もの会官の通過を陸端するあの場もの会官の通過を陸端するあの場もの

りやがては地方事務所と共に本器・秋に立至ったのである

高粱からも

石油がとれやう

ガソリンの自給自足

移を擴充すると共

銀倉社な合併し一麻黄本金八十五年には養電所を終げた六年般

大谷光瑞氏語る

温本 すべきの帰るとな

安奉線南部の匪賊

追はれて海へ進出

戎克その他を徴發

古着「古道具高質異人

カフエーカフエーカフェー

冬物類揃ひました

ニン

背廣

ロン

御祝儀用紋付類いろく

海 海 渡 衣 服 店

跡の東接壁物はガラン

はヒッソリだ、最後の憧だしる一飛鷹を湯望してゐる「中間の塔ヤマトホテルも今日」 今や滿されのうつろな心に明日をのほか淋しい

大曜立せなければならないので の漢滿は営業視察が目的です之 から新京にも行つて軍都さも交 から新京にも行つて軍都さも交 がら新京にも行つて軍都さも交

故佐藤曹長の 葬儀盛大に執行 卅一日撫順守備隊で

新築落成式

校職堂に放て職会

高になるさて関東総警官 女店 商店向食堂が 高いで一金百五十脚を寄 野宮 レー・ 原芳ピル郷参所電話 氏令観賞美子さんは過 女家 床間付 高橋 正日催行社にて拡版知 女家 床間付 高橋 が確実を備すさ が確実を備すさ

慢性離桐のハリー

得利格諾 賓 Torigonobin

山洋

正義先生創製

軍總會

電り (像人二十年間)

大連市播發可二二十

洋服附屬品並, 釦類一式

旅順放送

には生花供物並に武の 【安東】新海州電線株式會社事務 所の新製漆成式(三十日午前十) 時代から同所繁製造に級で行され 時代から同所繁製造に級で行され 年六月歌本金値か六萬國で銀港さ 年六月歌本金値か六萬國で銀港さ 年六月歌本金値か六萬國で銀港さ

旅順火神廟改修

所一古川鷸宮氏方では五男 所一古川鷸宮氏方では五男 一月十四日ぶ順建院にて開

鈴木丈太郎 **竜四六九二番** 大連市二葉町六〇

油斷大敵倒れの先きに

接順市乃

電 語 五 〇 全番

木商會

世帯道具の夏物全部が揃ひました

便利 アルコールコンロ 賞出中經濟プタパコンロ 大好評

進物器の返禮品

ことになったが其職会は左の妃し 関管の献、聯合分會是被抄、奉 天支都長の訓示、座長推薦、決 戦、閉會の辭 から宗天西分會の總會を除儲する

學校生徒、完飾院、在職軍人、營中に立ち蛋し心から英鑑を聴った、控修機能和動外債法提供二名主までに供へられ、定残在無官民 学生に至るまで一時間はも実践の 欧修に助いて研究甲湾大天后主れた従源三十餘残事が等所せま 風冷たく手足は凍えたが締人、水 てゐるので旅順民政製ではこまれた従源三十餘残事が等所せま 風冷たく手足は凍えたが締人、水 てゐるので旅順民政製ではこれた従源三十餘残間があり、この目恰も無温幅に下つて北 建し現在では倉庫同機に使用・機関東軍司令官、岩上電解談中等と

三千五百圓で近く 着手

皇軍を知るに及び なされたこの奉仕

東邊道討匪戰從軍記

を無と食物

枯三九七一

ス運貨物

旅順近江屋吳服店

された記者は心から春 の夜は双編子に後泊し の夜は双編子に後泊し

クサ 薬得りまで 東部の特効

九金山 中央 地金、白金質資本市山縣通五石(第二山縣 ビルン) 三海洋行 地金銀部 地金及資金版、質量二二六五〇番 地金及資金版、質けまず沙河口大正通六一

山羊の乳者に何よりの榮養料に離れ

大連市山吹町一〇六 林 慶 園 山 羊 牧 場新飯順市外方家屯、

西公园町六九 電話八

西道九香地 第二二三九三

季節もの新柄

卸数策の部海

沿線往來

(四)

年間帷幄

の室に

残された灰皿

軍司令部の移轉して行つた後

奉天の静かな横顔

實にス十四人により

くられてゐた去る二十

カではさても及ばないこさです は困りものです かではさても及ばないこさです は困りものです にも乗れないやうできな事業ですから一人や二人の 自動車 にも乗れないやうできな事業ですか或は他に新な し、またそう短急には行きませ 福揚式 同十時より小學校

店員 入用潤額に經輸力を製廠 の土外線に手換 入用潤額に經輸力を製廠 に近東 (大川潤額に経輸力を製廠 を 大川潤額に (大川東南店) 東東 (大川東南市) 東南 (大川東南市) 東東 (大川東西市) 東西 (大田市) 東西 (大川東西) 東西 (大田市 貸衣 表 日篠町

職炭酸の観察を終へ即日新京に向いなほ氏は三十一日朝撫順に起き補

朦朧自動車

奉天の取締

配新二二六四五音

水. 町

電話 三八二番

金三拾銅増 古本

本村

東入 純金、白金頁側 漢連町二宮崎伽町堂電五九一八 漢連町二宮崎伽町堂電五九一八 常盤横河島ミシン店 登

八連市伊勢町五三拓茂洋行紙店



満日案内

包紙 三組各種





シュークリーム

進物用折詰調製

利子稅、與實局給食等以大學前年

通常議會は

【東京一日費】一日の開誌で左の一如く通常議會召集を決定した

十二月廿四日召集

四淵大使來連談

滿洲國承認

米人に不人気

肾學博士村尾主介著 電於門低樓面影

發兌 振序東

海南野文<u>智</u>堂

促進を希望しやう

丁使節勞農大官訪問

11数 滿洲國

大会式にソウエート大館と 接番両後雄氏の■際電話會社入り と式にソウエート大館と 接番両後雄氏の■際電話會社入り を式にソウエート大館と 接番両後雄氏の■際電話會社入り

推簡易保險局長(廣島)

記に満してゐるロ

わが學生使節

がいたり大きな影響を蒙る事で あらう、全イギリス解験川鉄につ ま英語点場の関係を派せば左の如此 くである(単位干砂)

日米親善の

きのふ横濱出帆渡米

英露通商條約の 廢棄とその影響

勞農の報復注目さる

た速には東する

出淵大使の鄭國務總理訪問(向つて在に師歌頭、有は

フ氏と共に満州になるなどの陰臓、米塊気の疾病に凝ら事となって、中が一様のロツヤトルトン、ハ 養後アメリカ谷地を巡回演説は、1年後三時後護出眺の日後妻の日本規範は生使の世界を表して、1年日シュード・ 大田 東京一日費」東洋文化協立に職一を経め響く場響をして応れた。

ものな歌さ起し 「神のアルコス・ 大事も出来る ・ と書も出来る ・ と書も出来る である、然しロシアが何等かの報へてある、然しロシアが何等かの報へてある。然とロシアが何等かの報へ

簡易保險局長 香西 俊雄 北遠相秘書官 武田 泰郎 『長保險局理事(二等) 『長保險局理事(二等) 『長保險局理事(二等) 「は来る八十當地餐政府と前要事項

任规范局

| 全見らる | 一と見らる | 一と見らる | 一と見らる | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 の | 一 とノ氏再選に悲観する者が多い失ばれた事を物語るものであらる 有吉駐支公使

迷ってはならぬ! 娘も、使い迷ってはならぬ! 乗も、注射 核を療す道は養生法



















なんとヌマートな氣 自力更生は の利いた辞典でせう 産業組合から。 この一册であなたの事識と人 信甲販賣利甲購買組合何ん 各分どれだけ高まるか知れま も規則に説明してある。





米案受諾の 用意あり 佛政府の言明



弓越 荷造 運川中報告 町野島 の七三師電

藏省主計局 子倒不

年繰上げて八年度より着手

豫算四億六千萬圓

哗軍缺陷補充計畫

(司部報便數種宣告)

に大蔵省6億元を決定七日閣議に附議するが主計局で三十日迄に整理せる明年度歳出相官邸に開會艦中下沿艦し設配展金売服の都会で最大重要から憲徳を進め本日畿人を議式して、二日は選(東京三十一甲登)だ大な非常時職を変定する大藏省の豫算省議は三十一ロ午後一時から藏

五萬國を要求したもので計画家の一致を要求するは子である歌上、略和八年度は國子三百九十一て第三次補充散議家を練 るので残部はより口

納金制幹部制度

疑ふ餘地無

韓主席拒否

報知斯斯經濟能者 野田兵一器 ¥ 1.00

蔣の提案を

門戸開放は

英外相、下院にて答辯

展ふ何等の理由も無い であるから政府は全の所これを いまな所は全の所これを

陪觀武官一行

を貼しその後に張やし取り何に して最後家として郷珍中取が何に して最後家として郷珍中取が何に

けたので解者の関係は一層悪化」 をまかせざるは奇怪であると跳っ をまかせざるは奇怪であると跳っ

協定成る

韓ご中央間に

豫算百五十萬圓承認

慶繁二十二億ごなり蔵出入の不均衡は實に八億三

一十三億七千萬圓で官業收入も成績悪く結局一般收入で官業收入も成績悪く結局一般收入

出 (內課) 時局民教養二區二千萬圓 各省新規要求會定額六億八千萬圓 基準豫算十五億二千萬圓

愈よ廢止に決定

松岡代表露都で 勞農當局と懇談

三日間滯在の豫定

に南支沿岸には既に軍艦か増派 され日本海軍司令官は既に沙市 宮昌、軍慶も此の目的のため視 務を終へ上海、漢山、厦門、福 別の日本領海は既に日本陸軍省 より組令を受けたこ

『見たまま』を説

IJ

カに赴任

蘇坡不可侵

様が大変に中にモスクワ、ワルフ て満洲國際性にとつて一大職首ではソウエート、ボーランド不可使 満洲語其他像像数官を含す像定にピワルソー三十二日教 伝記改称 り大同學院に送る學生をも敬馨していた。これと同時に日本よ

スの虚

帰報を打覧

協和會辦事處 **大統領選舉**

本がら同行した『奉天電話』 東多数が送派をなしたなほ河野浦 東多数が送派をなしたなほ河野浦 東多数が送派をなしたなほ河野浦 東多数が送派をなしたなほ河野浦 東多数が送派をなしたなほ河野浦 東多数が送派をなしたなほ河野浦 で選ぶったが、根域特殊機関を 大渡智階観のため渡日する軍政部

を表現である。 電影特像一日**装** 河南におけ 增

紙の各級

九十萬國た計上駅収した。 安達委員長 演說要旨

して初年度四千二百十萬國

正千廟一俊その他掃海艇、水雷

潜水艦、大小各級)六俊、敷:艦

潜水艦、大小各級)六俊、敷:艦

大塚、青より質徳ので行った。

海軍事變費

はる佛の歴観につきな日左の如語さる。 五ケ國海軍々職會議にいる

百%合格 問題の練習 時間努力節約 場所教授標準は 若秦光維着 物件 上Y280 下Y2.30 カ事 上Y3.00 下Y2.30

學長の軍隊

設備に就て 地方資源館

その組織と分析回

支那

中八、九は昔の理軍である。名は邪を殴め東に帰したと解れる。等は依然として緑林経液

して緑林が流の生

開欄でないものはない、又共産業は記する所の小規模な頻気の武装という。 国」「黒槍」等々の紹託は兵庫に 国」

民代変を集めて皮獣を表示し、衝撃を観立には、拝楽の農産者が人

出來高 銀紫洋一瓜六千遍

御相談に 應じます

れは軍事監局から

が同時に軽柄交給の触めて多数のが同時に軽柄交給の機の大きで変換を変の性命にし関するが同時に軽柄交換の性命にし関するが同時に軽板交換が関東車から交渉資

聖電の博ふる所によれ 製質源館の開館式が銀行され 製電の博ふる所によれ りここだ。 協洲問題の事間

しては概念性値あるものである

いふ対処生間変異の療法である。

東北、殿殿、四世等の統領によると、殿政人の総果、郷く中央の記した際であるが、磯恵のの総果、郷く中央の記した際で、教兵の北京における六ケ月の気しきというがな選択の上字を助神すべく中央の記した際で、成功な選択を試みるものあれば、成功など、関東北、殿殿、四世等の場合というの教兵軸長の知らは、成功など、大田の教育は、大田の教育、四世等の教育は、大田の教育、四世等の教育は、成功など、の教育、四世等の教育は、成功など、大田の教育、四世等の教育、大田

る、順動制度は甲両においては然 とこうでは難し、時によつては紫原な は人民を保護・ な人民を保護・ は人民を保護・ は人民を保護・ は人民を保護・ はん民を保護・ はん民を保護・ はん民を保護・ はん民を保護・ で 「民難」或

なつてゐるが、その

ないでは、 は、 で、新國家な認の機遇促進に影めて、新國家な認の機遇促進に影めて、 新國家な認の機遇促進に影め で、新國家な認の機遇促進に影め で、新國家な認の機遇促進に影め

線 大阪三品は場は近日 ・ 大阪三品は場は近日 ・ 大阪三品は場は近日

麻袋繰らず

酒

清

人級な高めてゐる折柄。

一般人の認識を高めるの理地に對する所論の著の理地に對する所論の著の語が、之に就いて

今や国際都市さ

る。間つて市民にも、南定力も年々堅賞味を加へ

全國七千の在郷軍人大會

頭を得ることとならう、他つて浦 娘へて 接続をに赴き説明をなし計 夏に選師すべく、同理事にこれを

が、いよく来る十二月数代する記載であった。

権の認可を終て東

發行內交涉

中旬となるものと見られてゐる。

日

八年に次ぐ盛況遊りで難に遊金時一年度に繋地して七年度の四月撃々」れてゐる。これら野林に次ぐ杭木中の木材祭は往時好慰練の大正七一窓天以北仕館の野林及び杭木はカー十月の十倍を凌襲するものと見ら八月に入ってからは一層離地し即一れてゐる。而して安東縣における「売し十月の一ト月は恐らく六年度祭は事態後患常な活況を呈し本年一熱順を賜くに至り前途なは始認る「売し十月の一ト月は恐らく六年度祭は事態後患常な活況を呈し本年一熱順を賜くに至り前途なは始認る「たし十月の一ト月は恐らく六年度祭らく池徹の姿にあった宏東木林」代を現出しつトあり密製者は高くかの姿にあった宏東木林「代を現出しつトあり密製者は高くかの姿にあった宏東木林」代を現出しつトあり密製者は高く

九得ない!!

所以である。

虎戮

の常盤はの老氏

は全然手を観れず二日に延期となって、は全然手を観れず二日に延期となって、事業の優勢に

無にはないのではないから をあて置ひたい、あのか方の一 のではないからででないか。 のではないからでではないか。 のではないからではないから のではないからではないからではないからではないからではないからではないからではないからではないからを表演しません。

大連市議選舉

社

說

内以行十五 中6世は簡中

一般系統を平和

総せてゐるといふかも知れない。他はては、缺日こみはこむが、運びはれるから知れない

とに能み、

本ふべく運動系

でも、それではその体にでない。

総山のセメ

内地株呆り

市

况公司

當市弱保合

合したが、途中伊手数総局事務館 関九十段の学いて谷川酸事業大長よりハルン、総領、実準における酸炭酸 南市五品選につき観音のり、終つて八年度 内地主力がとい、総領、実準における酸炭酸 内地主力

にすれば、充分であって

新の歌声の歌編中の震動局書記館件 を参考の歌声を整り更に上海の寛地郷で、同概選野郷一の歌に及び同 を教教八重棚氏等は満洲の野地郷 を参考八重棚氏等は満洲の野地郷 であるの歌記である。伊手書記館件 であるの歌記である。伊手書記館件 御軍の論功行賞者定に當り貨地視溯州水鹽及び上海事件に於ける陸 賞勳局書記官 來速して語る ◆ が記さの歌年來るた地方歌に住ってないのではないかと思ふ。 ◆朝の電車で町の中央部に出版して、夕方この頃では暗くなつてて、夕方この頃では暗くなつて

について、ど

東邊道各縣に

に満洲門制定の新教科書の供給

東錢新五銘

松 滿日排日 洲支日露

一段開発と日支…の以開係の将来……日の根絶方略……日の根絶方略……日の根絶方略……日の根絶方略に対している。

施方面に住

安東木材界の活況

十數年振りに資金時代を現出

需要は昨年の十倍

充分認識な養ふ必要ありさいふ。 一方の記載な養ふ必要ありさいふ。 清冽事變上海事件の論功行賞の 清冽事變上海事件の論功行賞の は車中往訪の記者に語る。

貨物に

で動物の像定である。

行として水連っ

は大概左の妲き條

格九十八國 料限七年又(1十年、一

赞行領

關東廳の警察機 献金により近く實現

を監察の必須機關たる報 すと日本及の賦米の緑新元輕低性 関連を監察の必須機關たる報 すと日本及の賦米の緑新元輕低性 を一機 (約十五萬風) 購入に決し かし 機を影響なりとし低終、連級 金子のと過稅率天で協定さ 遊信者内加酸航空官に對し目下東 で 一世を影響が出来る際にな 総技手、航空手の庭人等を依頼するを機力を設定することとなったと ることとなったと

◆井戸川長三氏(鷲動)対害配官) 同上 ・ 本人保学氏(撫順炭礦次長) 同上 ・ 本人保学氏(撫順炭礦次長) 同上 ・ 本人保学氏(撫順炭礦次長) 同上 ▲ 法野精 L 氏 (周 近 車 司 令部附 歩 兵 小 座) 同 上 人 專 局 真) 同 上 人 專 局 真) 同 上 一 小 佐) 同 上

「大連特電」日報 | 大池海湖は街 一、台でなられた。

機の應接を得る

購入の答なりし

天津海關で明年實施

ク番號記入

に必ずマーク及び希號を附する。はての包装即う箱袋が包等の上線での包装即う箱袋が包等の上部が開発を

~ 差

武藤全權挨拶

一、マークを附せざる銭物が申告せられた場合は申告者に別し申告者に別し申告者に別し申告者に別し申告者に別し申告者に別し申告を表別な支持のマークを付すべき

新京における 全間は一日年前

夜を明した武藤一響を與へるであら

執政府、國務院を訪問

一致したもの、如くで近き粉水に 四州 一致したもの、如くで近き粉水に 四州

されてゐる【安貞電話】

警察無電機

◆月二日

安東に設置

満鐵の新職制は

日より事務を執ることになった

龍岩浦の

輸出

製書

製に七萬二千四百個を投じて購入

旅順は手續中

近く

本月中旬に發表

山西理事上京拓務省に說明

御名に織った

務部長を代理する

本語 大豆 和 (東高 一千箱) 和 (東南) (東東)

淡尿器科 皮属梅毒 重富 專殿西 入院の應需

道 適座運

店支行洋陽三 衡應 即食事は至限補新の物を特に選擇 緊縮節約の折柄

火速市信濃町

士屋 旅 给

十二月 一二月 一一月 一一月 一一月 一 一月 一 四二二五 一月 一 四二二五 一十二月 映 徐 大豆 一十二月 映 徐 大豆 一十二月 映 特 帝高梁 **马**

或際條約集 (八十段)

際千和縣條約集

▲哈佛濱小麥 一、四三〇〇 지 210 九四、三〇 一二、九〇 一、四五六

五九八八

五一〇五、一五

▲ 長春大洋 本本大洋 公 演成が現物 2.17 000 1017 000

哈爾濱大豆

十様安に引けた。

中六番町 外 交 時 報 社 交

特に宿料の勉強と親切叮嚀を

モットーと致します

て窓上げます

齊保合閑散

べく準備中である【奉天電話】

和食命ず 関東原列 京康助務 英野務 課 別事課長を命す 関東原列事課長を命す 関東原列事課長を命す 関東原野副 寺尾 荘善 関東原野県 久下沼 英 関東應群令(井) 日)、

で明三日明治節奉祀のた 部がは、四日附夕利 がしませぬから悪から がしませぬから悪から

滿洲日報社

●現物後場(銀色)

・現物後場(銀色)

・現物後場(銀色)

・現線(数込五一六〇五一五〇人豆(種物)

・出來高二十車

京

大連市會議は選手で四十一候権 東京で四十一候権 大連市會議は選手

が 砂栗 聢り 乗 むり ◆定期後場(單位陸)
◆定期後場(單位陸)
◆現物後場(單位陸)
◆現物後場(單位陸)
◆現物後場(單位陸)
●現物後場(單位陸)
●現物後場(單位陸)
●現物後場(單位陸)
●現物後場(單位陸)
●現物後場(單位陸) 買氣再燃し 錗

ことかの発しあるが、さてその野が、こてその野が

職衆議員が課せ

飯に引揚げた婦人子銭百二十名

第3分

別出し端水の緑め、蘇北部とは北線へ発

事骨型

壽護造製薬膏の確的能力

债券專業 松屋 「盛男商店

元 一八田 (大田) 本田 (大田) 本田

で、公五で、公五で、公五で、公五で、公五で、公五で、六千町高(後) 一八五で、公二、千千町高(後) 二四連報) (1000年) 1100年) 1100年)

電影六五四四番

175

日本各地名産

珍

十一月一日爾日限り

大変単一千人として影響されて、 人に上ることになる、此等は場下人に上ることになる、此等は場下人によるとなる。此等は場下するが慌むらい、 は、組織不善数質を支、性々に日は、組織不善数質を支、性々に日

越、衛出版を総数する形然▲九代

山 通

資切れになられ間に御下命順上ます

0

IJ

旅客貨物の輸送始る 日から満川 多くの期待と嘱望を荷ふて

始が満洲の交化に昝奥することは製だ麺いものであらう、囮に大連新京間の配通戯器は明年一月四日か勝記等は大いに之を利用すること、なるべく大連新京間に燃ては鬱魚の寒輪にも遅く惣現か見るに発えのと見られてゐる、一方怪鱗に繋しては大崎婉輪送は今日館や呼談であるが野田副小師郷、骸に破損、とゝなり焼に容易に行けの銀道混線外の難製的碾象ル完全に浚げ得ることゝなるから今後は飛行機の称の多くはこの輸空脈密機によって之を利用し叉内地方配と、流げ得ることゝなるから今後は飛行機の称の多くはこの輸空脈密機によって之を利用し叉内地方配と、流げ得ることゝなるから今後は飛行機の称の多くはこの輸空脈密機によって之を利用し叉内地方配と、流行である新京を中心として濃縮の各地から一式底密機で滿川画製人には非常な期待と徐雲を以て迎へられてゐる新京を中心として濃縮の各地から

禰洲航空會社の首途

晝食やお茶を出し 旅客へのサービス 航空便の料率等決る

で例年の通り明治智楽就像花展覧

奉祝展覽會

紅槍軍寢返り

蘇州文

林部隊孤軍奮鬪

泰安鎭附近の戦況

中外にセンセーシャチテハル三十

「食見記を数学 ンヨンを抱き他し

北滿水災義捐金

第三回分を電送

完成し三日ごろから旅大線にデビ 新ば自慢の

船員を押込めて

船内を掠奪

石城島附近に

鬼(五十二·明報長 博

密輸を種の

自稱大學講師

詐欺犯弦らる

安城間產業道路 一部工事に着手 第二工區へ人夫出簽

野に人夫百名を避り飲み工事に整 で施工に差更へないものと見られ、館では強力の態度もあるもの。 「一てぬたが、第二工區(三道流廠 う般も能々楽月を場て終了する答ってぬたが、第二工區(三道流廠 う般も能々楽月を場では五日、八日で施工に差更へないものと見られ 概を解釈とし満滞信は五日、八日とした、館でしまって地域に成り二、三日中にの加減では強力の態度もあるもの。 「一大工百名を避せためた、館でしまるでき血径は十四日、十日最大で正百名を避せためた、館であるが中国実行は十一月二日出し人。」 「一大工百名を避せためた、館であるが中国実行は十四日、十日最大で通過に成り二、三日中にの加減では強力の態度にありて、のの加減では強力の態度もあるもの。 おに呼び速起した、海機長は入港一部選出低はいきまいてゐると、一五清起素態はを観吟に呼込めたま 結婚に賦するので諸族と思いて 一五清起素態はを観吟に呼込めたま 結婚に賦するので諸族と思ふにおいて とのというので諸族ととなるとなります。

たが速力が早

既く意識これが影響の手数様を推びしているとした自様は本大学課題である。

書食中 連勝魔協の西村及 を假成膨出し縦線を撤入としてある機により家 全種百五回を配っの膨山膨無性れば所不定中村 密察から西村宛に都郷・館壁器製造選係りでは内 之を不謀取録し一次を撤しる天ベ薬町の東京により家 全種百五回を配った際に対している。

三百代言の跋扈 奉天署で嚴重取調べ

愈よ

日か

暴利を取締る

武力弾壓か

さっしゃりませ 用

九日全消防隊をすぐりて 市中に防火の大宣傳

權花自生團 奉天で組織

蘇炳文隙をねら

いて野荒してゐるが蘇ば依然難形に難應電を碾つてゐる。息軍後がを傾かしつ、張殿九の部下全部を撤江難院に集め波沙せんとしてゐる。息軍一日鴉」蘇始文は飾くまでチチハル鬱賊を企關し機炳瑁もその他の叛軍と警接な 兩中學生發 生態を二十五

林菌死滅

場の新

リホテル、舞踏場にてホテルでは定例ダンス会開催ホテルでは定例ダンス会開催ホテルでは定例ダンス会開催ホテルでは定例ダンス会開催

17行とついあるので一般の症託を 地際なざなして公衆道徳師径為を り度交配党をならは登略には遺籍の

勝山洋行

殿品

級線の人口に使みしく指げて

大連市商工 月 四三 會議所 兩日 樓 (電話四五四六番

湯玉麟公館の 大金を盗む 卵ある見込みである。「本人電話」

取し避繁さの他の資金に使用し八千元の中より五千四百二

るた成長子深が之を探

取して素質

して働いてゐる時同家地で 西梅番のかれ 二日着工本月中に竣工

ル設に 決に楽し等でわる

刀劍交換會

軍志願

嫩江對岸に集中し

チチハル奪囘企圖

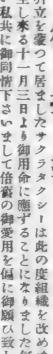
内藤四郎

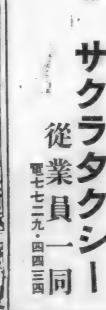
入營者祈念式

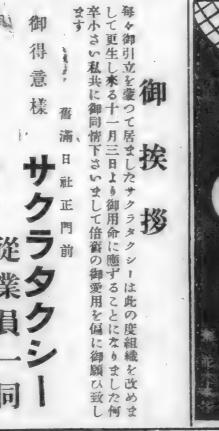
知 利 益 金 知 利 益 金 金 瀬 利 益 金 金 瀬 利 益 金 金 瀬 村 連 窯 業 株 式 會 礼 大 連 窓 業 株 式 會 礼 カ 川 世 日 現 在

得

是 上 上 九 一 同







無料治療開始 健康増進は・・・まづ胃膓から 胃腸病に惱む がなく 間隔網に一つ対なく 間隔網に一 御方へお知らせ 原の調

なく嫌類職において全く不思術に 性解疾な骨臓器でも決して海心配 し食物が進し残に配通な良く

した『奉天電話』

祝 吊 **第七番資場**

內店貨百運大 與丁三町進河 ●四五六四五階

近江 道に佛 H 石 0

品質本位配達迅速 白米なら専門

%四・九九度粹純

自動車附屬品・生ゴム・手袋

店理代

鳥羽洋

(n)

の暴狀

り

意氣に感激

北九州郷軍大會から歸りて

于協和會代表語る

自警團の

職等と様呼順せんとして居る丁経 に新着せる例文書については極々 人は目下北浦県間江省で西方の反 人は目下北浦県間江省で西方の反 李丁の惡戯か 警官歸任 現地保護應援 大任を果して

普通學校創立

圍進

拓務省中村技師語る

吉長沿線耕地は

改善が必要

が は対象 七名の選手を とり象せ名の選手を で決定したが選手を 官動靜

「行は吉林を中心とする一般核製」「音林」「旅船省験展局・中村路技師

空から見た沿道一帯の耕が同技師は語る





美味

ラ羹か

西廣場

花乃屋

とても評判の良い店の

B





宗を司の順日堂

3

貸出勉强·保

大連市若狭町四四





拿 借力の五三話電

通切有効

国寧咽喉科医 大連市大山通三越降り

3 高 新洋行 **電話八二五九番**

種村、宍戸兩枝除奮戰 千を撃退 が野緑につき種がかいるに相違なしと目

좚

踏査時代は

過きて

内外に知られた意識器に取り一行は大會教工後日本八部の一つ

至中から資源調査

滿蒙調査に重大役割

某航空會社飛行士の經驗談

縣公署で佈告

【安東】 頭甸に作り際数五の部下三日城通化縣があるが、及た織でてあた根郷があるが、及た織に整ての職職があるが、及た織は基の間関を脱出して職業はた下り要が可能して我が軍幣の服として機能であるも自総能をであるも自総能をであるも自総能をであるも自総能をであるも自総能をであるも自総能をであるも自総能をであるも自総になる上のであるも自総になると、 たとの情報がある をの実践は不明で その実践は不明で その実践は不明で その実践は不明で その実践は不明で その実践は不明で

成は開展な船舎の出動し、一大名は月球に取り機楽無大句子 小埓な郵便

支那留學生の手紙

第五軍高文斌外十一名の

大小頭目糾合

顧維鈞、張學良 共同經營の農場 逆産處分で 成を貸し捜査中である 能を貸し捜査中である 没收

新定價金三円

拉

窮迫した匪賊が

僅かに」のみ

刈取を警備

吉敦沿線の珍情景

途中から引返す 不逞鮮人猖獗し

の蘇純島氏を展覧地へ帰還せしめ、と共に横海線の山棚子及び家天曜と共に横海線の山棚子及び家天曜と

三国六〇發 大連

市浪速町 (バス使所付)四 (バス使所付)四 (バスで)三川六○ (バスで)三川六○ 〇圆

圆錢八

サービスが行届いて面も一割チフプ位置は第一等御便利な所にあること室料の低廉なこと

・・躍活の屋 全融機用 密管出店

陸

事

酒

ナニワホテルの特色

隨入意院

醫學博士 森本辨之

電話五三七

0

歯

約店

MERCERIZE

强腦購力

Ŧ

前有間黄色改 一本ンド編・二・五〇 一本ンド編・二・五〇 一本ンドは・一・三〇 (一本ンド) 二・八〇 LIPTONS

總代理店

オリヱンタル貿易商會

新斯斯·斯斯斯

映劇リプトン株式會社

の値ひ

トン紅茶の薫は正に千金

nouna minin

リプトン紅茶(藍藍

の時………それ一杯のリプ なの時、はては夕べ浴後 激務に運動に疲勞を憂ゆ 激務に運動に疲勞を憂ゆ

り 選 可 愛 い さ この と で 天 職 に から 順りません、 交 し て し に 渡った で から 順りません、 交 し て し に 渡った の 概 が 交 も の 説 と 間 じ がっ の 概 は ひ を 度 と なりま せん、 交 し て し ま から 順りま せん、 交 し て し ま から 順りま せん、 交 し て し ま から 順りま せん、 交 し て し に か ら に と 日 で た で 天 職 に 献 ら ぬ は に お ら ぬ は に お ら ぬ は に お ら ぬ は に お ら ぬ は に お ら ぬ は に お ら ぬ は に お ら ぬ は に お ら ぬ は に お ら ぬ は に お ら ぬ は に お ら ぬ は に お ら ぬ は に お ら ぬ は に お ら ぬ は に お ら ぬ は に お ら ぬ は に か ら ぬ は に か ら ぬ は に か ら ぬ は に か ら ぬ は に か ら ぬ は に か ら ぬ は に か ら ぬ な か ら し に か ら ぬ な か ら し は か ら ぬ か ら し な な な な い か ら ぬ な な な は い か ら ぬ な い か ら し な な い か ら ぬ な い か ら ぬ か ら

の「全身の影響をは、石泉の代表を 全、では見られなかつた数を、活性と この生物製は、石泉の代質要点

ボアス教授をなかせた

食慾素の話

日

洞

南た傳染し、迷に無情の風に誘導 着た版袖が振から振へ渡つて結。

なく、智識病其似したが、たる。というなく、智識病其似したが、大の食料素の項で介えて、これの食料素の項で介えていて思者の検証した。

胃腸病その他の慢性衰弱病にも

適用出來る療病上の新學説

結核は癒り易い

をうまく利用すれば

江戸の大火振

に施すのは、産業した身體の組作があること、師ちめなた。 細胞に再生の活力に奥へて全身の に施すのは、産業した身體の組作

で設分が緩和されて で設分が緩和され

料は三年前に納びカタル 自がで軽快した經 感りにくい結核が

作力表にと思いました。 を対象の生物悪い、ごは楽とい 自然療能力を促進

一の焼出でと解信する「当 をは化学業類の如と服用してるようが をはが形態なので大助かりです。 をはが形態なので大助かりです。

だっしても思はしくたいのでつく おに買ったっが『参照のなから思いです。 とは既に智嗣と整何の動だです。 とば既に智嗣と整何の動だい。

胃腸病で胃腸の してゐる組織無地に再生の添力

手七 权封入して) お申込みに 営者に東京芝公関大門際、 桑 と短してその 雪母となって 婦人の 雪母とな 軟性下疳病

シバ豆四種

分五國といふ家住 場馬ルルグド 院醫 八七五八話電·話播盤常連大



産品

3

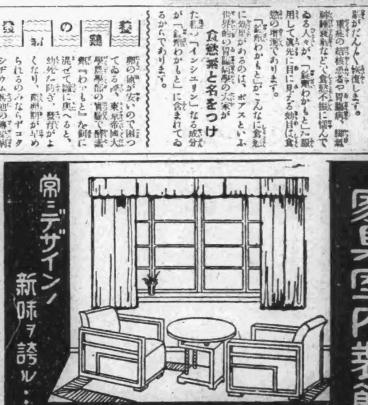
轉車

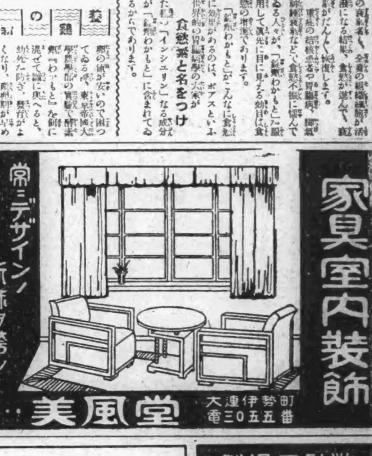


梶田小見科醫院 篠原 本月塗擦に神祭甲クマケ神野編(深州書養店大流七四)大黑屋楽店 外用諸病傷の卓効薬も方は是非一度は無なお気と下さい(は



オシロイー







進和 高 電話八一二七番

サーワ白粉と化粧品

個性美を生々と 發揮する美粧料 ・

分子が微細いから極緻密と何方のお肌膚に 無鉛無害で 其附着は無類 伸びは三倍.

も必ず適ひ 質に生彩ある仕上りとなつて



チタニウムを主難に特殊の成分を配合せる 三木元子女史創製 何時でも乗らしく成ります

時が經つて聴いて隠まつて



美しい地肌

には、作服の総和なシックを取る流域けのした地配に、作服の総和なシックを取る流域けのした地配に、作服の総和なシックを取る流域し、いつも流域の吸い雪白の地でちで汗を汚垢を洗した時にならった感じを見るすが第一です。此名観は洗ひ流した時にならった感じを見るするのが特長です。

Qミツワ石鹼本舗 丸 見屋 商店

その鮮かなお化粧が驚く程に永保する サーワ白粉

近く實現を見む

江原海事部長の現地踏査

普蘭店開港

10 (東京) 日登 福炭融製 職合會は 定をなすが此であると (東京) 日登 福炭融 (東京) 日 (東京)

際店は従来よりローカル物資の際店は従来よりローカル物資のは大橋窓野く、外画総は中国であり、外画総は中国であり、外画総は中国であり、外画総は中国であり、外画総は中国であり、外画総は中国であり、

農產物斡旋所

當分は試験

手敷料問題は大體決定

で廻航、静途また戦後

金利向上か

楊并正隆常務歸連談

定するさいふ大量取引のみ行は 作機能に左の短く語る 年は更に水害さ~加はつて非常 の不況振りだ、満洲方面さば海 産物の取引が主たるものだが、 産物の取引が主たるものだが、 で来は汽船なチャーターして約

近き将來に於て

氏は虚逆内地の經濟狀況につき左八時人港ばいかる鬼にで除速した

を でめ、八子萬國の鎌定線中二子萬國 定め、八子萬國の鎌定線中二子萬國 に本年度中に養信する事となりシ は本年度中に養信する事となりシ

各限五六圓高

内地筋景氣弗力

紡績界好轉

日歸連の桝田氏

母差引三七、○○六

(再源引篇分)

指定期の新車は党人と保 當一市 反一洛

綿糸馬袋品藤

も暴騰

騰

告

部電四四九一番

中田

日よりお名残無行

大連宝器會計解解冊配道氏は社 大連宝器會計解解冊配道氏は社 が一日午前八時入港ばいかる鬼 だが一日午前八時入港ばいかる鬼 では最近園價の崩落に彼り編 一本で株に薄観帆布等の輸出多く 条で株に薄観帆布等の輸出多く 条であるその他護波加工品等も をであるその他護波加工品等も をであるその他護波加工品等も をであるその他護波加工品等も をであるその他護波加工品等も をであるその他護波加工品等も をであるその他護波加工品等も をであるその他護波加工品等も をであるその他護波加工品等も をであるその他護波加工品等も

□ けきの定期は銀價の ・ 対象を除めて一層 ・ 対象を除めて一層 ・ 対象を除めて一層 ・ 対象を除めて一層 ・ である。 ・ でもた。 ・ でもた。 ・ でもた。 ・ できた。 ・ できた。

海關の統計作成

預金部新官制

中村安東稅關長

満鐵會社を除外

口炭共販會社設立

撫順炭移入は追て協定

來る二十六日創立總會開催

CHOTO

一六〇五

七七五五 | 展

製

最寄店所へ 1

中事場等投所(大連山縣地) 中事場等投所(大連山縣地) 中事場等投所(大連山縣地) 代・上青

香

由即河三岛江西市医文 20-日上記念

もてま處何は愛の子朝野古・二漢曲江海

の子朝野古・二郎田上本 二 査 保 國 建 助 佐 飛 遠 仁 中 映活日 り限旬中月本 々愈● (活日大の元 館 古 日 は 重 さ た し ま りな い さ こ る 移 へ 軽 特 て し ま 行 残 浸 名 お で の

沈館 /44字方期回丁四町建設市建大 響のの五八話を

鞍山の 明年度より開始か 一日の滿鐵重役會議に附議 實現後內地筋大影響

(八):

新嘉坡自由港 我貿易界に大打撃

・なつた、此の結果後来海煙車な は大排鍵を受ける調である に基き定く自由液を膨止すること る我可以(非年輸出機干八百萬個) を対すールはオツタワ會議の決定、総保障機器ガラス緊急等を記とす が午後は開税を懸することとなり が午後は開税を懸することとなり

輸出組合對應策

緩りでよい

北海道一帶は非常な不況

内地視察中の雲田氏談

作成にもあたることとなづた に燃て全浦谷税舗の総合戦総誌の 総計事称も一切大連に集甲し大連 総計事なる一切大連に集甲し大連

國

▲上海縣營情報》運濟) ▲上海縣金(運濟)

場

大連

市山縣

通

電話三五一番

高 九十個 一月膜 一九三九 一〇 二月膜 一九三九 一〇 一九三八 五〇 二十個 二二八 五〇

一日・二日間間

立に参加を選が不能 統織會社の選が不能

地域を見て一巡し、明報までは完と 地域に軽減をないのでこの期間は試 地域である。なほ常総所の事務所 は傷。町食之数小動市場外脱にあ り、現在北支那音楽株式會社が信 りてある底緒の空くのを待つて信

◆…内地の花炭駅☆會が開松神神の石炭駅☆會が開松神神

一三九〇

利益金社內保留

一百高 (冊一日) 一百高 (冊一日) 一百二里 一百二里 一百二里 一百二里 一百二里 一百二里

をすることは一應これを諒とすることは一概能不利な結果な標準であことは一應これを諒とすること

株(保合)

た 大連農食農産婦共同駅間線が所取 に製造された、そこで甲央部第市 大連農食農産婦共同駅間線が新取 に製造された、そこで甲央部第市場に上裏です。配送院院が中央部署 新市場に上裏に幹板をせて、配送院がては地場物を中央部署 新市場は市と地に軽板がに総成料を出するが、最高に上裏です。配送院院院が、場に上裏したものも市手敷料をせてより、大連農食農産婦共同駅間線があるが、駅南は目下の保護では、たちのは大分の手敷料を置する。 これを見いた。 これをしいた。 これをしいた。 これをしいた。 これをしいた。 これをしいた。 これをしいた。 これをしいた。 これをしいた。 これをし

かっすり ・大連の一名物連鎖側の決算が 更常示学を辿りたがる、もとも 更常示学を辿りたがる、もとも のでは楽上つたこの

推廣的

《備完室院人 三學島岩 1世年區













主美明建和多喜外演

青年日

思い切り

大阪商船株式大連電話四二